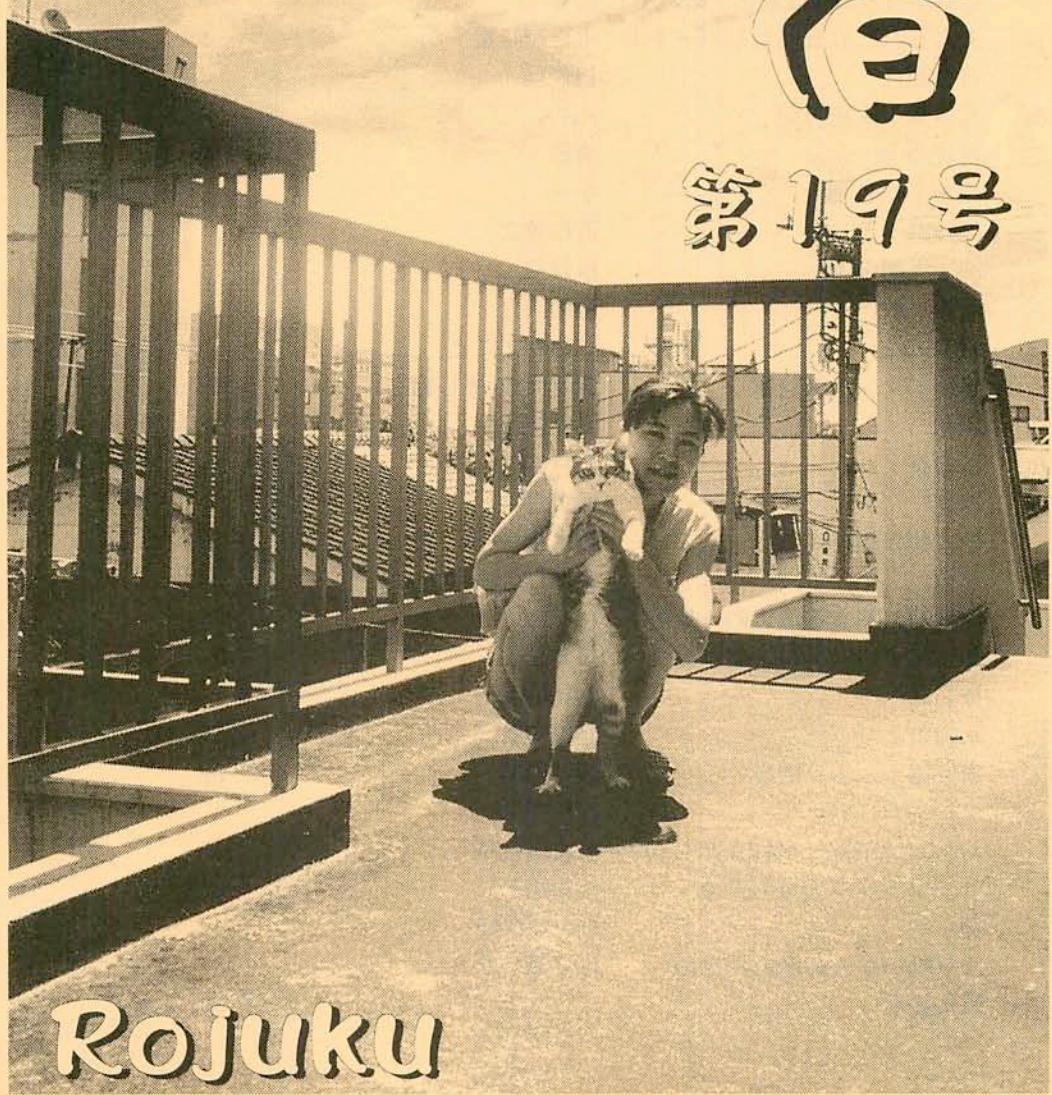


路上文芸総合雑誌『露〈Rojuku〉宿』

2002年7月1日発行

# 雨路宿

第19号



定価500円

## 露宿

## 目次

表紙写真	工藤真紀子	
文中写真	岡田知子	
逡巡の余生	富士森和行	2
心に残るこの一曲「娘よ」	いさむ	3
これからの日本は変化するのか? 宗春	宗春	4
支えられたり支えたりパートII 平之家暁星	平之家暁星	5
日々断片	田代猛	7
北海道一人旅日記	Kさん	8
目覚め 他	清翠	9
のんだくれ 他	小一	10
五行詩	近松雅之	
詩・人間畠 他	秋戸空	11
這這・放	弓削鴻介	14
短歌 など	いわせまこと	
新編・マンモス交番	望月大成(挿し絵も)	15
無題	橋安純	18
私の春	五林修	
無題	禿黄耳	
朝太郎の箱船	鈴木克彦(挿し絵も)	19
無題	名無しの権兵衛さん	24
紀元節に関する個人的・見解	A・Sデービッド	25
女性棋士にはメロメロなのだ…	只野醉払	27
挿し絵	CAMEL	
水道町より	高橋美香	31
東京路上ふらり散歩	笠井和明	32
	岡田知子	
おきなわ旅日記～一休のおばちゃん～ 恩田美代子	恩田美代子	35
サンフランシスコの天使	小川裕子	36
挿し絵	David Adams	
はり師いが丸の肝心かなめ	はり師いが丸	37
編集後記		38

## — 遍巡の余生 — | 十五首

富士森和行

妬ましき視点となるか睥睨へいがいの彼方さわやかに風薰るらん  
僥倖ぎょうこうを願ふ思ひは等しけれ路上に生きる命なりせば

露命をつなぐ仮寝の宿にして心かよわす誌報の続く

(路上文芸誌の健在、想ふ)

遍巡しゅんじゅんの余生となりぬ葛藤に再び路上へシェルターとなるか

日本語の乱れを糾す書と共にホームレスの自立への書も数ありぬ

モーリアの幻想われの老ひ充し且て建設現場の朝礼沓るか

(ポール・モーリア「エーゲ海に捧ぐ」)

軋轢あつれきと云ふ名の衣われ常にまといつ、挫折に耐ゆ生き方寂し

葦簀張り神造所くみつ、初夏となる町は祭の準備愉しき

(浅草、三社祭近き日に)

新らしき就職のケアの一端かホームレスらを老人介護に起用すると云ふ

心の傷み互ひに譲り合へるヘルパーの職然し実現難し

理想的職なれど路上より自立への資格取得ヘルパーに限りらぬ

わが視線熱くなりつ、「ホームレス」の再起の映像深夜に追へり

(5/14、NHK、ホームレス取材テレビに想ふ)



街路樹の枝剪られ行く梅雨ぞらを当てなく一日バスに揺らる、  
語彙の羅列ひと頻り日本語乱る、中に老いて愉しむ  
さ、やかな余生となる地へ我也亦亡命したしこの世の際に

(5/18、深夜 自宅にて)

心に残るこの一曲

# 娘よ

いさむ

嫁にゆく日が 来なきりやいいと

おどこ親なら 誰でも思う

早いもんだよ 二十歳を過ぎて

今日はお前の 花嫁姿

贈る言葉はないけれど

風邪をひかずに 達者で暮らせ

私はこの歌だけは生涯忘れ去る事が出来

ない。芦屋小雁の兄、芦屋雁之助が歌い、鳥井実が作詞、松岡孝之が作曲した大ヒットをとばしたメロディーなのである。芦屋雁之助と云えば皆んな御存知の如く、東宝映画で封切られた、裸の大将、小林桂樹主演、テレビドラマでは雁之助が見事に画伯山下清役を演じた。このドラマも戦後今は亡き佐田啓二と岸恵子が演じた「君の名は」に匹敵するだけの評判が高かつた。その彼がまさか歌うなどとは、夢にも思はなかつた。この歌を聞くと涙が頬を濡らすと同時に、遠く過ぎ去りし日を思い出す。想い出

せば又涙がこぼれる。なぜこの文章を綴るのか、自然に筆が走る。

想いも寄らぬ別れた妻の喪報の連絡を受け妻の実家に行つた処にすでに本人は死亡、その仏の前で約二十年振りに娘に逢う。長い間文通さえ無く心にはかけていたが、まさか逢えるとは、私は長年逢えなかつたが直ぐ我が娘だと解つた。本当の親子の血筋は争えないと穴でもあれば入り度い気持で一杯だった。逃げ出す事も出来ず、間借りて来た猫同然の状態で通夜葬式と無事終つた。

去年は長男の死亡、こゝに来てその母が。

壇になるなら私が変わつてやりたかった。娘は私とは逢い度くはなかつたのは私には良く解る。今は夫に先立られ一人暮しだと云う。そんな娘に私は親らしく何一つしてやる事が出来なかつた。別れた妻とは昭和三十七年に入籍、男の年齢的には遅すぎる三十五才の時に出生した。昭和三十九年と云えば東京オリンピックの開催の時だ。当時私は露天商や行商を飯の糧としていた。

娘も結婚したが、さぞ苦労もし父親を恨んだ事だろう。影ながらこれから歩む新しい門出を祝つてやる事も、笑顔で見送つてやる事さえ出来ない。その事が娘にして見れば頭の中にあるから私には逢はうともしない。

逢い度いと思うのは当然無理な話だ、只一つ実家から帰る際、娘は、「お父さん元気を耐え春めいて頭を出して来た様な気分での母ちゃんの分まで長生きしてね。命日と春秋の彼岸には必ず罪滅ぼしだと思ひお墓参りだけはしてね。」と云つて立ち去つた。三十年もの間、頭の中で想像していた娘で

はいかない。岐阜から仕事を終え帰つた途端、妻は私に「美和子も（娘の名）幼稚園にゆく頃になつたし父親が今の稼業では生

活は楽かもしれないが世間様には大きな顔も出来ないし足を洗うなら話は別だが、さうでなければ子供の為に離婚若しくは別居してくれ」と哀願し、一と晩考えた揚句別居する事にした。別居するにしても今更やじに話し組の近くに住居をかまえた。昭和四十五年ある理由から離婚する事になり、妻は二児を引き取つた。昭和六十年娘が二十二才で結婚したと風の便りに耳にした時、果かなくとも、室内のスピーカーから流れて来たのが、娘よ だつた。歌を聞きながら窓辺で秋虫のさえずりを布団の中で孤独を味ひ乍ら涙を浮かべ乍ら男泣き、寝入りした頃が今も脳裡に残つている。

娘も結婚したが、さぞ苦労もし父親を恨んだ事だろう。影ながらこれから歩む新しい門出を祝つてやる事も、笑顔で見送つてやる事さえ出来ない。その事が娘にして見れば頭の中にあるから私には逢はうともしない。

あつた。私は四、五才位の他人の女の子をみると、何故か娘を慕う。この年頃に私は娘と別れたのだ。

哀れでならない。他人の子でも私に話しかけてくると私はなぜか心がなごむ。私は人生の壁に突き当つた時、取るべき判断が間違つていたのである。悔いても仕方あるまいと自分で自分を慰さめるしか解決方はない。

それからと云うものは、必ず、娘よ、を口づさむ。新宿の西口での越冬闘争の時も渋谷山下公園での越冬の時も、仲間の尺八や太鼓三線に合わせ、私の放浪歌ごよみ、と題し紙芝居の中に娘よを取り上げて一頁を綴り仲間のメロディーに乗り、娘よを歌ひ、例え一時でも仲間に喝采を浴びた。

現在野宿を止むなく生活している仲間の中には、娘さんを持ち、娘の安否を案じている人もいると思う。娘のため、自分自身が歩いて来た道を今一度たしかめ合い、明日に夢を描きながら、娘よ、を歌ほうではありますか？



## これから 日本は変化 するのか？ 宗春

失業者の痛みは、路上生活者に直結する。困難にあそいでいるホームレスの人々の改善をまずやつてもらいたいものです。

我々の仲間のためにも早い解決を願うばかりである。又、首相が何を言ったかは別として実行してこそ重要なことと感じます。

これからの日本の変化、このようになれば、経済的にも生活水準が極めて低いから困難に陥る。この一言に尽きる。

この長い不況のあおりで大きな会社や銀行の倒産があいついでいる。倒産の影で世への不信、そして働く場所もなく生活苦で自殺者が増えていくのに多く感じるるのである。

政府の人々も国民をないがしろにしているのに等しい。

先ず原因の一つは小泉首相の改革問

題の一言に尽きる。

こんなに世の中が変わったことは間違いない事実であると思う。けれども、國民の痛みは少しではなく、苦痛に変わりつつあることも確かだ。

嫁に行つたら 我が讐言わす

可愛い女房と 云われて欲しい

いつも笑顔を 忘れずに  
ついて行くんだ信じた人に：

笑い話で、すませるけれど

口じゃ云えない 苦労もあつた

嫁に行つたら 我が讐言わす

可愛い女房と 云われて欲しい

いつも笑顔を 忘れずに



# 支えられたり 支えたり パートⅡ

平之家 晓星

謹啓

桃色の花が落桜となり、つづじが満開の候となりました。笠井さん始め連絡会の皆さん、ご健勝にてお過ごしでしょうか。

ホームレスになつて全国を旅しはじめたのは、そう一昨年の五月の連休でした。東京、神奈川、静岡と東海道を下り、兵庫、岡山、広島、山口を通つて九州へ入りました。汽車やバスや徒步で

：気がつくと、もう夏が過ぎて紅葉の季節に入つてゐるではありませんか。充分な路銀もなく、駅のホーム、寺、教会、民家…野宿も多かつたですね。

景色が氣に入ると何泊もしました。漁師さんに氣に入られ何泊もしましたよ。三時頃、起きて、漁を手伝つて、とりたての魚で酒を汲み交わして朝飯です。漁師は實にぜいたくで、料理が上手でした。おいしかつたです。素材は新鮮ですし、海辺や船の中で食べるのですから、うまいのは当然でしょう。

さて、ホームレスとなり、一人ぼっちの単独生活に慣れますが人は何をするでしょうが。獸道に入り犯罪を実行する。特に路銀や煙草錢、酒手、食費に事欠くようになると罪を犯すようになりますね。

ますね。一度成功しますと二度三度と罪を重ね、常習犯と変化しますよ：血を流すのも平気なタイプと全く血を嫌うタイプとに分かれることは分かれます。

もう一つの典型は、乞食スタイルですが：

“食すれば鈍する”まさに名言でしょう。

人間は善いことをしながら悪事も働きますし、その逆も当然あります。得る訳です。小さくて弱いのは人間の本性かもしません。

血統や育つた環境にも左右されますね。

一人で自立できる人は、百人中何人居るか、解答は不明です。そんなことを考えたりしながら歩いていると、自然は偉大であり、心に平安を与えてくれます。草木の緑は心に安らぎを、海や空は気持ちを与えてくれるでしょう。

日本海沿いを回つて師走もおし迫つた頃、上野に辿り着きました。幸い、なぎさ寮に入れて十日ばかり、屋根の下、ふとんで寝られ、少し人間らしい生活を経て、再び旅に出たのです。

この年の夏から冬…と言つても十二月の中旬迄ですが、警備の仕事をしました。

寮に入れ、三食付きだつたからです。しかし、ひどい会社でしたね。一口で申せば、飯場生活、それも借金で縛られた：法務国家とは程遠い世界です。働いている人達は、善人が多かつたですね。しかし、私同様、意志の弱い人達でした。会社側の人は、法を無視し、利益のみを追求していましたよ。余程、労働基準監督署、税務署、新聞社等へ情報を流してやろうか：それとも：でも止めました。何故つて？

新宿へ戻つて、越年越冬イベントがあることを知り、参加させてもらいました。仲間と接するとホッとしますね。その後のことは笠井さんもご存知の通りです。

仲間の許す限り、微力を尽くして、自分のできることを連絡会

や船を通してやつていきたいと思つています。入院・手術、一時保護を経て、現在自立センターで世話になりながら、自立の道を歩き始めました。きっかけを与えてくれた「新宿連絡会」に感謝しています。本当に有難いことです。

自立センターにいる仲間が自殺しました。酒、ギャンブル、喧嘩等での退寮者は、後を断ちません。逆戻りですよ。

この現実を関係者の方々は、どう観、どう対策を立て、いるのでしょうか。はなはだ疑問が残ります。現在の経済環境下での就労は、私も含め確かに厳しいものはありますが：しかし仲間の皆さん、おいらもとう、就職が決まりましたよ。住む所も確保できましたし、社会復帰の道を歩き始めますよ。何の仕事か？と言われるのですか？マンションの管理です。住み込みですね。仕事をするのは、難しくありません。廊下・エレベータ内部、玄関、駐車場の清掃、設備機械の点検、宅配便の荷物一時預かり、夜間の巡回：です。

仲間の皆さん、希望を持つて頑張るしか、そうがんばるしかありません。日曜日の炊き出しやパトロールで見かけたら、是非声をかけて下さい。金や力はありませんが、少しは参考になる話しきはできるでしよう。おいらは何も、運転免許も持っていないません。幼稚園も行つていませんよ。

そろ、出勤時間が近くなつてきました。紺碧の青空に鯉のぼりが元気良く泳ぎます。心気一転、初心に戻つて、ひたいて汗して働いて、自分で稼いだ金で、うまいものでも食いましょう。自分の生活は、自分で守るしかないのです。  
連絡会や福祉課の方々に相談して、気合を入れなおしましょう。  
本当にありがとうございました。深謝

敬白

# 第9回新宿夏まつり

前夜祭 2002年8月17日（土）夕方5時より中央公園ポケットパーク

慰靈祭、カラオケ大会など

本 祭 2002年8月18日（日）昼より中央公園ちびっこ広場

青空床屋、ゲーム、音楽演奏、炊き出し、盆踊りなど

あっと云う間に夏まつり、あっと云う間に9回目、晴れ歌舞や路上の仲間！飛び入り参加大歓迎！ビルの谷間にひまわり咲かせ第9回新宿夏まつりいよいよ開幕！

第9回新宿夏まつり実行委員会

☎160-0015 東京都新宿区大京町3新大京マンション304号スペースかぼす 気付TEL 03-5367-5666（相葉呼出）

賛同費一口2000円。郵便振替口座00170-1-723682「新宿連絡会」夏まつり賛同費と記入下さい。

## 新宿連絡会

111-0021東京都台東区日本堤1-25-11山谷労働者福祉会館4F

TEL 03-3876-7073/090-3818-3450 FAX 03-3876-7073  
ホームページ <http://www.tokyohomeless.com>

メール [shinjuku@tokyohomeless.com](mailto:shinjuku@tokyohomeless.com)

<カンパ金送り先>

郵便振替口座：00170-1-723682「新宿連絡会」

# 日々断片 田代 猛

が落ちてしみこみ美しい花をかがやかせるものでせう。一滴一滴の雨水にならう、そんな心をおぼえる今日の日曜の雨の一日でした。

4/21 夕記す

一、Aさん、子供さんと共に訪れて来る。医、人生、社会を語る。この子供さんの未来の日本を考え思う時、心憂う。でも今日は童心に返り楽しかった。母子供幸あれと心から願う

5/3 憲法記念日に思いをよせて記す

一、さなぎ達フェスター話をしようよ

「もやい」参加交流に寄せて

寿の仲間達製作絵画展を見て、

一、少女がハトとたわむれてゐる姿、純真そのもののその顔、童心、その背景に赤いレンガ作りの美しい教会が五月の青空にくつきりと浮かぶ、その絵画を見ながら感動を心におぼゆ。平和そのものの風景、姿、製作した仲間の人の心の深さを胸に感ずる。こうした仲間の人達とのつながりが一步と一步と弱者の未来の明るきを作り出すのだと絵を見ながらその仲間の人達の日々の実践活動が大地にしつかと根をおろした運動だと自ら学ぶ事大なりと心に思ひ決する。

今日の参加交流の一日は私の人生の糧として心残る一日でした。皆さん、有難う、有り難う。

5/11 参加交流に思ひを寄せて記す

一、介護保険（日介介護保険センター代々木）要介護2の認定を受けて一年有余、浅和さん、渋谷さん、岡さん、宮倉さん、他多くの人達が（ヘルパー、ケアマネージャー）が去つて行つた。  
何か知ら自らの心が寂しくなる。介護保険施行されて二年近くになる。介護保険の末端、現実面の充実を心から望む。

4/18 記す

一、介護保険で落海ヘルパーさんと知り合ひ六ヶ月近くなりました。いろいろと複合型援助（家事手伝ひ、身体介護）、いろいろと、御世話になりました。そして人生、政治、福祉、愛、数多くのことを語り合ひました「あいだみつお」さんの本を交換して読みました。人生なんてながくて短いものです。その人生でふとした縁で出合うものです。それを大事にして心にきざみ生きませう。有難う落海さん。

4/19  
21..30分記す

一、アノネ、人間にとつて一番大事なものはなにか、そこを原点として考えてゆけばあとは自然にわかつてくるよ、人の目にあざやかに美しいと、かがやかせる花も目に見えない根があるからなのだ。その根が見えない原点なのだ。その根に一滴、一滴の雨水

一、国立医療センター先生  
平林國彦先生（呼吸器科）、厚労省より日本医学界として、二人の医師の一人としてアフガニスタンに難民医療活動に赴くとの

こと。去る日、集中治療室で生命を救つて頂いた先生。

僕に常々、路上生活者であろうとも、橋本前首相であろうとも、人の生命の尊さには変りないと語つておられました。医の技術も大だが、もっと大事なことは一人の人間として、一人の医師として、人の生命をあづかる医師として倫理性を人一倍抱く事が必要だと語られてゐました。御自愛の上頑張つて下さい。そして貧困と飢の人々の生命を救つて下さい。心より祈ります。

5/13 去る日の集中治療室の会話に思ひを寄せて記す

一、  
どのくらい、高く登れるのか、  
どのくらい、深く潜れるのか  
どのくらいの、暑さに耐えられるのか  
どのくらいの、寒さに耐えられるのか  
どのくらい、速く走れるのか：

個人の自由で時代に反旗を翻すのが何故批判されるのか。

有事法制三法案、メディア規制法案、個人情報保護法案、国会審議中。今日の新聞、テレビ等で防衛庁リスト身元調査を一齊に報じてゐます。個人の思想信条の自由は正に危機に瀕してゐます。戦前のあの暗い足音が一步一步と寄つてゐる現状です。そんな思ひをするのは私一人でせうか。「より善く生きる」最後迄執念を燃やす「露宿四号」に時評で記した日の想ひが胸によみがえります。

新緑の去り遅く五月の終り。日近く早朝 5/29 7時記す

“此の國を戦前の世に戻しつつありと思はゆ老いしわれには”  
“戦争を知らずに生れし政治家が玩具のごとく扱う戦争”

## 北海道一人旅日記 K

平成十二年五月三十日いよいよ北海道へ一人旅がはじまつた。

茨城県の大洗から太平洋フェリーで苫小牧まで二十一時かんかかつていつた。さいしょのじようりくち苫小牧からバスで札幌へいつて大通公園でやさどうもろこしを食べて夜はサッポロビール園でジンギスカンを食べて札幌から夜汽車にのつて、くしろ、でのりかえて、またそこから汽車にのつて、ねむろにつた。ねむろはきりさめだつた。そこからバスでのサブ岬にいつた。のサブ岬わとてもいい天氣でした。ほっぽうろうどがみえた。ねむろではかにのつてつボウジルを食べてゆうがた四時ぐらゐの汽車にのつてあぱしりについた。泊まりはあぱしり。このちかくでテントをした。そこでわ地もとの人からやさいをもらつた。とてもうれしかつた。つぎの朝七時ぐらいからこんどわ北のはてわつかないまでのバシリヨこう。オホーツク海わりゅうひようがとてもよかつた。バスの中でわりようしのひとからホシザカなをもらつた。わつかないについたのわ五時ごろ。テントの中ではんごはんを食べた。あくる日はれブン。リシリ島にいつた。そして夜はリシリ島でテントをはつた。とても天気がよかつた。つぎの日朝一番のフェリーでわつかないではしようせつのもん、そしてたロ、じロのどうぞうにいつてわつかないからチトセまでのひこうきにのつた。かえりはチトセから上野行の木クトせいをかえてきた。

また北海道にいくぞ。

# 目覧め

清翠

が、唯むなしさが残るだけの人生しかないのだろうか。

夜明とともに、人々は、電車、車と

その点、雑草とは、強いもんだなあ

とおもう。

踏まれても、踏まれても耐え忍んで、いつしか、きれいな花を咲かせて喜ばせてくれる、本当に根強い花だとおもう。

人間と雑草、にているようで、どういったらいいか、わからない現在の心境である。

私は、現在は二つ目のステップを踏み出して、更生施設である淀橋荘に入所して、身体を、いといながら取りた

てて、あまり厳しい仕事をさがして、りふたんのかからない仕事をさがして、それが人が刻む、歴史だと、食つて、冀して、寝て起きて、さて其の後は、死ぬばかり、宇宙一切は完なり：

故に自分を信ずる対極にある事も、眞実、己にとつて眞実とは、すべて半分という事だ。自分の想いを通そうとすれば、必ず他者を傷つける：

ならば、人とは、生きているだけ、人を傷つけるものだ。その想いを己の心に忍ばせておけば、『一切』は完という事がわかる。

一ヶ月という入院生活のスタート、こんどこそ、自分の健康を、この歴史のある何かを学んで退院して、きのうは今日、本当の自分を生き方を学んで、退院したいとおもつております。

# 歴史

今年は、桜も早々と散り、せっかくの桜も楽しむ心のよゆうもなかった。  
それは、現実から逃げているせいだ  
ろうか、家族の和から、いつの日から  
か、様々なしがらみの苦しさの中、も  
がき、くるしんで、それがいやになり、  
皆んなの中から、逃げてきたのだろう  
よ。遠くに聞えてくる笛の音、何んと  
いう曲か知らないが、いやに心の中に、  
しみとうるネイロである。

そして、日々の暮らしが、苦しくな  
り、食事さえ、まともに食する事がで  
きなくなり、笛のネイロが、心の中に、  
わびしく、せつなく聞こえてきました。  
でも、朝焼けは素晴らしい、まぶし  
いほど地平線から登りくる太陽も、ま  
た、心の中に、今日をはげしくもえさ  
かる炎だ。

あの時の笛の音、心の中に、もえさ  
かる炎。そして生き様。何を待つてい  
るのだろうか、待つ事がなれたつもり

再度の糖尿病の悪化である。八階の病室より  
見る物、すべてが、私の心に、暗い影をさす。  
けれど生きることである。

何かの本で読んだことがある。

乱世の世も、太平の世も：

そして、必ず、一つの答を出す：

確実に時は流れ、その出た答えに、思いもよ  
らぬ事は、一つたりともない。

それが人が刻む、歴史だと、食つて、冀して、

寝て起きて、さて其の後は、死ぬばかり、宇宙

一時は完なり：

しかししながら、本心は、不安でいっ  
ぱいです。

どうせ、やるからには、最後の最後  
までやり通すことを心に決めています。

完

帰りたくも家もなく  
慈悲うける父母もなく  
いつか心も荒れはてて  
人の荷物に手を出す  
良いもわるいもみきかいなく  
その日その日お生きて行く  
人を信ずる事が出来なくなり  
落ち行く所わふきだまりだが  
もう一度やりをおすか

## ホームレス心情

月も既いでて二十月  
金もなくあるくすがたのなきなさ  
二度とやるまいふか酒はと思ひながら  
あるくすがたのみじめさに  
これが本当の運の月

## 無題

俺の身体はどうなつて居るのかわからない

酔いさめて身の秋は  
いかにわびしかなしみ  
よるよるに身おさらし  
帰れる足元月でらす  
月も既いでて二十月  
金もなくあるくすがたのなきなさ  
二度とやるまいふか酒はと思ひながら  
あるくすがたのみじめさに  
これが本当の運の月

## のんだくれ

赤提灯　おいでおいでと  
俺およぶ　酒たてど  
なぜか酒という字に勝てない  
意志が弱いのか  
それとも俺の身体に  
へびがすみついて居るのか

## 小一

## 無題

旅

いつか帰る  
楽しい旅  
ついつい踏み込む  
戻れない旅

## 天国

天国は日本より良い所?  
地獄は日本より酷い所?  
同じ気がするよ  
いつこうにしりょくがよくならない

## 勇者

勇者とは  
困難な道を  
歩く者  
なぜかその道を選ぶ者

## 自由からの逃走

一人きりの孤独な自由から  
自由になりたい  
誰かと暮らす  
覚悟もないくせに

この地下室から  
俺は必ず上へ出る  
扉がどれほど重くても

## 五行詩

役者

基本をたたき込む舞台の上  
本能が体を動かすまで

## マンボウ

泳ぎが下手なマンボウは波に漂い  
クラゲを食つて回遊上手になりました

## 夏

紅い夕日に眩しい予感が  
体を満たすこのまま夏で  
いておくれ

## 地下室

近松 雅之

# 詩七編 秋戸空

排気ガスで

誰がアルコールを売るのだろうか？

うすよこれてしまつた

コスモスが咲いていた

ひつきりなしに自動車が

通るのでコスモスは、

清楚でいられるはづもなかつた

でも……何を云おうと

いやつたらしい文明社会

コオロギの鳴く声さえも

聞こえぬ……

アルコールを飲むしか

ないんだ……

明日の仕事もないし……な

清楚のままで咲いていられる

そんな地上がほしかつた

コスモスの想い……

## (山谷雑記)

'01・8・29

山谷は、涙を流しているのだ……

アルコールは、彼らの  
アルコールが入る分だけ

## よせ場 (山谷雑記)

'01・8・24

ほろ酔いかげんの

赤い顔にくすんだ色の月の光りが  
照りかえつていたつけ……

ある人は、あびるほどの涙を……

## コスモス (山谷雑記)

'01・8・24

山谷の街角のかたいに

白い毛のようなものが  
生えていた草もぬいてみた  
これも人間だつた

僕は、人間畑の中に……  
そこは、人間畑だつたのだ

涙を……

僕は、限られた空間に  
僅かな土があり  
そこに生えていた  
黒い頭の草をぬいてみた  
人間だつた  
次の黒い頭の草もぬいてみた  
人間だつた  
次はめずらしくもない  
白い毛のようなものが  
生えていた草もぬいてみた  
これも人間だつた

僕は、人間畑の中に……  
そこは、人間畑だつたのだ

涙を……

## 露宿

書けるんだ—Poetry(詩)を

'02・3・6

Poetry(詩)を皆んなで和音するという  
しかしこの世には不協和音しかあり得ない  
いし・・・  
不協和音とはロシアとUSAが一緒に  
鳴らした音の事

和音は響いてはこない

支配権力が恐れるのは、  
皆なが自分たちの言葉を・詩を

描く事だろう・・・

Poetry(詩)で

世の中を変える・・・

そんな詩は、宇宙に

釣り下がつてしまつて いる

手元には降りてこない

だからと云つてあきらめてしまうのか?

あきらめない事は、一様に

Poetry(詩)を

手元に求める事ではないのだ

自分で・描く(かく)ことなのだ!

表現と云うものは、

誰にでもできて・・・おそれるなよ

それは、お前が生きている

と・いうことなんだ!

そう考えれば誰だつて

## 炊き出しのカマド

'02・4・21

強い者〈金をたくさん持つ者ども〉を  
俺たちの描く(かく)詩で、文章で・・・  
取り卷いて・・・やろうじやあないか!  
詩を文章を描くことでヤツラを包囲してやろう!

俺たちの描く(かく)詩で、文章で・・・

今日は朝から、雨が降っていた  
なにもかにもビショ、ビショだ!

炊き出しのカマドは、燃え盛る  
降り注ぐ雨どもを吹きとばす!!

よつて来るな雨どもよ!

グツ、グツ鍋の内(なか)は、煮えたぎる

皆(みな)の想いのように・・・

鍋をかけたカマド  
十基のカマドに火がはいる

ヤツらは、ビックリして  
持つてもいい(精神)で

ちじみ上がるだろう

そして物理的・力でおさえ込もうとする

だろう

でも民の(俺たちの)言葉は

殺せない!!

支配権力(行政権力)を俺たちの言葉

自分で・描く(かく)ことなのだ!

表現と云うものは、

誰にでもてきて・・・おそれるなよ

それは、お前が生きている

と・いうことなんだ!

そう考えれば誰だつて

今夜になつても  
冷雨(ひさめ)は、降り続いていた

カマドの火はもうない

でも少しほは皆(みな)の身体(からだ)を

温める事ができたろうか・・・

命をつなぐ事も出来たか・・・

路上からも・・・わきあがろう!!!

暖、寒、冷、の夜

冷雨に打たれながら

ヤンカラを身体（からだ）の中に足して

ねむつただろう・か

命をつなげ！露宿者たち！

かざられていた花束

生まれて存在する、君の原素・は・？

・・・それは、母の羊水池なのだけど・・・

それにも郷土があつた？・・・から？

露宿の仲間たちは今日の

季候のように明るかつた

カマドも燃えさかつた

カマドの火は消えたけど

この冷雨がうらめしい・・・

ものすごい暑い日が来た

冷雨（つめたあめ）の日ともかわらず

炊き出しのカマドに火が入つた！

今度はこの暑さを吹き飛ばすように

カマドの火は勢い良く

燃え・・・さかつていて

汗まみれになつて動いていた仲間たちは

汗だくだ！

そんな風に炊き出しのカマドは

燃えさかつた！

皆（みな）の命の糧を炊き上げる

カマドの火が燃えさかつた日

今日はひどく暑い日であった

でも命の糧を炊く

火は燃えさかつた！

焼き出しの場のかたに花束がかざされていた

あの冷雨の日

亡くなつた仲間のために

生きるとは、所有ではなく

存在えと向かうため冒險である

（金 南柱）

全ての私的所有など・・・捨ててしまえ！

それは、祖土（おやづち）に帰ること

現実としての生と死の現れ・・・

そこには、貨幣幻想からぬけだす・道で

もある

皆んなそれが分かれば・・・

争いもなくなる

人間の生きる道

'02・2・3

## 祖土（おやづち）

政治など燃やしてしまえ！

政治は、すべてにエセを造り出すか

人間（種）は取り合い、奪い合い争う

弱い（貧者）人たちは、喰い殺されて

巨大な資本は生きているのうのう・と

この者どもは人間という資格もないから

人間（種）・という

この者どもは自分たちが生き延びる、糧は

祖土を貨幣を手にするために

喰い殺している

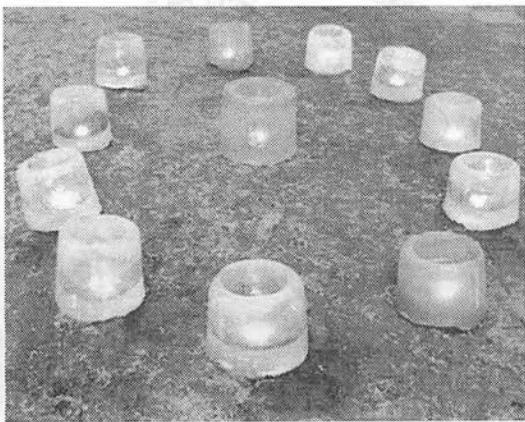
人間の生きる道をとりかえせ!!

郷土、それは・土地という私有存在では

ない！

郷土は、祖土（おやづち）なのだ

# 這這・放



(一)

夜でなければ、生きられぬ、  
そんな運命を、秘めて飛ぶ、  
這這ホタル、放ホタル、

♪合唱

酒場ホタルが、今日も飛ぶ。

這這・放  
村を追われて、駆け込む世界、  
西も東も、初づくし、  
這這・放、嫌になつちやう。

這這・放、嫌になつちやう。

(二)

可愛いがられて、左棲ひだりすま、  
取つた積もりが、捨てられて、  
初めて知つた、恋の味、  
酒場ホタルが、火ひともを灯す。

♪合唱

田舎育えなかそだちの、コンコン狐ギツネ、  
乙に澄おつまして、紅鹿の子、  
這這・放、癖くせになりそう。

這這・放  
生きる術すべ無く、生きられぬ、  
酒を注ぐのも、生きるため、  
這這ホタル、放ホタル、  
酒場ホタルが、今日も飛ぶ。

(三)

夜もすがら痛み続つもきし腫れ足に  
「生きてやるぞ」と足袋ハゼしめる  
足はれどひと日を一輪車押し命じられ  
地下足袋は血膿汗アツムギはじりて臭ふ

「たらぬ奴！」幼きころよりあなどられ  
今なお「ノロマ」が呼び名となりぬ

石のごとろげることをくり返し

酒にのまれて親方妻あわじといさかふ

大飯をとがめし親方妻あわじとどなり合ふ

「働きなし」と吾をせめれば

妻子など夢のごときか日傭吾

ひとりの摩羅にボルノ誌ひろふ

## 俳句

## 短歌

弓削鴻介

這這・放  
酒と貴男あなたは、日焼ひやけのなすび、  
灰汁あくぢが程良ほどよく、やめられぬ、  
這這・放、嫌になつちやう。

脱げぬ足袋かかと穴あき春がゆく  
走り梅雨摩羅まで冷て溝さらふ  
梅雨晴や飯場の軒の地下足袋すだれ

いわせまこと



もの、ふは死をも厭わず 身を賭さば  
大和ごころは 葉隠の歌

テロリスト 一人消すなら殺し屋も  
千人殺れば 英雄の内

カーニバル 美女がピチ、お手抜きも  
イベントあらば すべて標的

日本とてアラブゲリラは腐るほど  
のろし一発 雨後の筈

戦わず 血を流さずに何やある  
自爆行こそ アラーへの道

シバ神とアラーは対の女婦神  
道は一筋 天国の門

仕掛けなら地下の売店 農林省  
出入りいつでも 踊り場の隅

殺る気なら馬の遠吠え 数ならず  
自爆覚悟の ゲリラ一匹

空港にゲリラ百万 ヘボ詩人  
やる気なくとも 云うだけはたゞ

ジャンボ機を落すにわざはいらぬなり  
サリン一発 客席の下

狙うなら花火イベント 隅田川  
炭素菌なら 死者が百万

事あらば隅田川辺は死者の山  
ゲリラ十人 自爆行して

狂牛病 次にくるのは炭素菌  
肉なし列島 牛どんは駄目

炭素菌 まけば昔の黒死病  
リストラ一億 國土全滅

テロリスト 尊師仰いでドヤ修業  
地下のオウムは タリバンの道

過激派がアチャラコチャラで揚花火  
パフォーマンスは お祭りの内

ダメ虎の日本過激派 役たゞ  
アラブの心 知らぬ奴では

自爆行 狙いびつたし 隅田川  
両国橋から 桜橋まで

テロリスト 事は一人で足りるやも  
ボート一艘 サリンまきつゝ

見事かな センセの予言 大当たり  
次の本番 もしや日本で

殉教の心は一つ 自爆行  
両国橋も ツインタワーも

オッドロキ センセの通力 尊師並  
予言当つて てんやわんやは

ホラ吹きが又も大ボラ 耳にたこ  
まぐれ当りは 神様の知恵

我が予言 見事当れば竜宮で  
友と祝盃 明日の希望は

殉教の心は一つ 自爆行  
両国橋も ツインタワーも

オッドロキ センセの通力 尊師並  
予言当つて てんやわんやは

ホラ吹きが又も大ボラ 耳にたこ  
まぐれ当りは 神様の知恵

我が予言 見事当れば竜宮で  
友と祝盃 明日の希望は

ダメ虎の日本過激派 役たゞ  
アラブの心 知らぬ奴では

自爆行 狙いびつたし 隅田川  
両国橋から 桜橋まで

テロリスト 事は一人で足りるやも  
ボート一艘 サリンまきつゝ

大当たり 誤差はたつたの二週間

両国橋と

場所は違えど

ポケサツや 嘘と思わば④の書

露宿十四

マルキ舟見よ

ホンモノはまかずも手段 香焚いて

サリン、と

さくら十人

エキストラ バッタ、の大芝居

ボリ公きたれば

ケロリンコして

こりやおもう 橋はパニック 大騒動

将棋倒しで

死者が千人

大成は高見の見物 大笑い

アラブの恨み

桜橋にて

恐ろしは群集心理 パニックで

おつむたちまち

餓鬼の集團

パニックはやたら動かず 死んだふり

薄目聞いて

大ダメキして

大成

殉教は自殺にあらず 死は命

自ら捨てて 咲く花はなし

客人 警視監

大芝居 乙姫  
仮病使つて救急車  
たゞ飯食つて  
はいのサヨナラ

鍋の蓋  
やめなさい バカつ話も程度もの  
センセのホラに 皆が浮かれて

ホラ話 当るところが意外性  
げに同じ頃  
ツインタワーは

大成

あの頃は週に二度は御対面  
三上こつそり  
覆面をして

事ありて無辜の民とは言い逃れ  
ワルの坊主の  
袈裟の下では

大成

元刑事  
今にても時に対面 センタ前  
覆面パトが  
さっと現れ

手配犯 平田はもしや自害では  
まこと心の  
命捨てるは  
純粹な奴

大成

元刑事  
その気ならいつでも三上 つるし上げ  
やる気のなきが  
見てもあり、  
大成

麻原の教義の内に自殺なし  
命捨てるは  
敗北の道

大成

元刑事  
タイセなら面パト一発 ぶちかまし  
三上仰天  
腰を抜かして

殺る気ならパレスの窓に狙撃銃  
一発百中

お手のものでは

大成

御冗談 三上ごときと心中じや  
アラブゲリラの  
笑いものかな

元刑事  
そりやできぬ 国の機密を握られて  
首は締めても  
息はスースー

大芝居 乙姫  
仮病使つて救急車  
たゞ飯食つて  
はいのサヨナラ

鍋の蓋  
やめなさい バカつ話も程度もの  
センセのホラに 皆が浮かれて

ホラ話 当るところが意外性  
げに同じ頃  
ツインタワーは

大成

元刑事  
今にても時に対面 センタ前  
覆面パトが  
さっと現れ

手配犯 平田はもしや自害では  
まこと心の  
命捨てるは  
純粹な奴

大成

元刑事  
その気ならいつでも三上 つるし上げ  
やる気のなきが  
見てもあり、  
大成

麻原の教義の内に自殺なし  
命捨てるは  
敗北の道

大成

元刑事  
タイセなら面パト一発 ぶちかまし  
三上仰天  
腰を抜かして

殺る気ならパレスの窓に狙撃銃  
一発百中

お手のものでは

大成

御冗談 三上ごときと心中じや  
アラブゲリラの  
笑いものかな

私の春

五林修

白く赤く黒い命の  
桜の花が咲く樹の下で  
狂喜する人達の姿をみると  
何かこの世で一番おそろしい光景を目にし  
たような思いにとり憑かれる  
夜、ねむれず、恐ろしい夢ばかりを見る。  
この国、どこか変なところへと一人歩きを  
して、一人にする。

何もない春の日に私は生きたい。

人間を使ひ捨てない桜うる  
寒ささえ露宿がふえて猫の恋  
一生懸命がりやか一引いざる  
路上寝にあがけたゞなる生きるが  
路傍の石飛びがえば武器となづ  
年月日付  
路傍の石飛びは露宿  
人間を使ひ捨てない桜うる

禿黄耳

風かわ暖かく明日の夜には  
老えよじてなど何もしない。  
死とえ一人ぼっちでも。  
こはんは3日前にいたぐ  
いなしそうかついだらもう  
眠っていた。春の満月の  
下ではいつもフワフワ。  
今日はお酒もいたぐ  
~~明日は~~ は明日アガ  
うクサスについて考えよう。

禿黄耳

春かわゆむくついた。  
流れる雲をみつめ2昔の  
なみだを流さうとかんぱう  
た日は冬だった。  
あたかいい冬に作っただ  
がんじょうは冬かこいも  
明日ははまことにう。  
これからは、夜明けの  
なかめでけだ。  
キラ キラ !!

# 朝太郎の箱船

3. 石頭寺本頑児の巻



鈴木克彦作  
(山下金七)

## 三 石頭寺本頑児の巻

### 一、イビリイビラレの章

イビリイビラレ ケリ蹴られ イビリ殺し  
がイビラレ死にか ケリ勝ちそれとも足  
取り ひっくり返りか  
イビルやつらもイビルやつなら イビラれ  
る者もイビラレるもの  
ソソラソラソラうきぎのやうに 飛んで蹴  
りケリびよこびよこイビル 足は赤腫れ  
ラタラタラタラー（注）  
人々まるで屁でもヒルよう びりあびり  
びり人いびり 布もビリビリウンチもび  
りあびり  
何しろ互に相手が違うから 三巴えのジヤ  
ンケンボンの果てしもない 三角イビリ  
誤解曲解カン違い考え方の 思考錯誤に  
して転倒せる鎌首を肩にのせ  
これが万人の靈長痴狂人の姿とは情ない  
ひねる者もひねられる者も上になつた  
り下になつたり 渡航嵐止み迄の過渡期  
の中で ああ一体 何んのためにイビリ  
合う

だってそうだろうよ 持ちつ持たれつ陰と  
陽光と影 男と女のような両極と中間が  
お互に仲良くやつてゆく伴侶と無関係者  
が 訳の分からぬイビリ合い ケンカの  
し合い オレもやるからキミもヤレ い  
いじやないか中村君（注） パチンコ  
カンビシーツ ガキッ グギとナグリ  
殴られる

わたし語り部にひとこと言わしていただき  
けば  
この争いにはもともと何んの根柢もない  
実に下等でアホらしい無理屈と無理無体  
女なら何んでもいいから早くサセロと半狂  
乱の若者よろしくハメたいだけ  
ギューギューグル詰めの イモ洗いな船底生活  
雨天の下に揺れて揺られて 脳天氣でさ  
えもがバランス崩して  
あらゆる人種国籍の 無職人がダブル発狂  
のカイワレのヒトモネラ菌の大流行にリ  
ケツチヤまでハヤリ出したすぎた  
だから敵も味方も石頭も サルマネラ狂人  
もサルマタもない 船中入り乱れての反  
則し放題の殴り合い 捆み合い 弱い者  
病人者まで当たりチラスござり合い これ  
が再に様々な因縁果を作つて奇妙な争い  
になる

十日も続いた三十めーとるの大波のサ中に  
は船底転げ回った脳ナシが 二の舞三の  
舞やろうとばかりにゴロラゴロのケンカ  
に精を出す

威信ツブシか民族つぶしか 年寄りババア  
も壁にニラミをきかす愚人も ウタタネ  
してては何をされるか分からぬ  
悪義の剛なる痴人よく柔を制し 大きなバ  
カが小さなバカをナゲ飛ばす妙味が實に  
クダラナイ

句会より苦海に沈む和歌人も 愛らしい少  
女の顔してオッパイ大きな白痴力ナの女  
も ヤラレテタマルカと近づく者をひつ  
ぱたく

ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO

宗教家もジャンプスキーのスポーツマンも  
女も小供も親方も鬼畜米英のファッキ  
ユーも舶来サナバビッチもパグルも理  
由なくワメカレ殴られるので自衛のため  
に訳も分からず走り出す  
どれが味方か誰が敵か目の前に現われる  
者なら誰でもイヤイヤながらのケンカ  
に熱と力が入り出す  
不平不満とイラダチと欲求不満諸コード  
ンヒステリーアラウルものがニクラシ  
イ誰にもカレにもワメキたい殴りタイ  
神ニクシアクマさまも兄妹も船中のド  
アホークレージー石頭朝太郎もにくい  
正んだ顔のガードマンもみなニクイこ  
んな船の船ブクに穴あけて沈めたいほど  
ホンマにムメナチャにくいわとわめきよる  
社会がニクイ国家がニクイ小供がにく  
い年寄りがにくい貨ヘイ社会拜金  
主義者タリバン潰した大統領もニクラ  
シイ

嵐の弱まつたころ多くの人々の精神的凸と  
凹のレンズに増幅された早発性狂躁症  
正に朝太郎船は狂氣船さてお立ち合い  
それでは彼らのワメキ叫びを聞いてみよう  
「身に覚えのないドロボーの疑いに激怒  
してそいつの物を盗み壊してやつて  
結局本当のドロボーにされてしまわれた」  
「アタイは女子高の頃男に大モテだった  
それがクヤシイ女子共集まり固まつて  
パン助の噂を大々的におっぴろめそれ  
からどうとう本物のパン助におちぶれた」

「殺人鬼の容疑でブチ込まれムシャクシ  
や人生疑い晴れて出された頃にや  
既に母は死んでいた心配と悲しみの余り  
この恨みはらさずにおくものかと憎き仇  
に飛び乗つて撲殺して以来本当の殺  
人鬼に相成った」  
「実は俺もそうなんだキチガイのマネし  
ていたらホントの気運にされちゃった」

いろんなやが未に消えぬ心の黒い傷を  
吐露してワメクみんなみんな気の毒な  
悪人達人が良いため清いためズルミのないため  
純なため優しい気持ちのために正直者  
のため金もたまらず出世もできず利  
用され騙されしぼり取られて  
罪なきヌレギヌまでしょわされ力の暴力  
以上に悪い世論に責めてたられて崩され  
れてム所暮し

てあげくは官権・法律の前にケタオさ  
れでム所暮し

悪い目ひどい目イヤな目みた無実の人々よ  
君達は神に見離された悪人そのものだ  
神は悪人絶対救いやしない許しやしない  
だから危い神仏に向つて牙をむくする  
と背徳者ボートク者に大自流者地獄に  
墮ちて死んでも苦しめと太鼓判

善人へのいい見せしめとばかりさんざん  
いじめて吊し上げるこの有象無象の恨  
み悲しみ怒りイキドウリ

「オレ遠シベリヤの流刑地で五十年極寒  
の中で働かされた愛国人大勢が飢え  
凍えて果てた」

「癪病棟にブチ込まれ孤島に呪い狂つた  
我々の生きザマを」

「ガン病棟を忘れたか結核病棟はどうな  
んだキチガイ病院に入れられた反大  
勢派はどうなんだ注射一本で廢人に  
された者達は」

「一体国家は我々に何をしてくれた国家  
は我々にとつて何んなのだどこに愛  
國心が民族の誇りがもてるのだ老  
人小供をひきづって異国を歩く我ら  
りブチ」

それまでは小象を見ながらドンドン  
と歩いた優しい母さん(注)だったのに  
悪人を産み出すのは警察と刑ム所狂人  
を担ぎ上げるのは精神科医教育者は悪  
物即ち大独善者と绝望的革命家を生むば  
うな者達なのだ

反政府活動家をつくり出すのは政府自身

悪人を産み出すのは警察と刑ム所狂人

を担ぎ上げるのは精神科医教育者は悪

物即ち大独善者と绝望的革命家を生むば

かり

外人乗客も様々にやれスパイ容疑だ殺

人容疑政府テンプク罪などで逃げ回つ

た無事の人々だ

長いヒトの歴史がそうなんだ帝国の歴史  
がそうなんだ巨大トルコの沈落イギ

リスに支配略奪されたインド列強に分

割租借され掠り取られた清国その他凌辱

された国

「オレ遠シベリヤの流刑地で五十年極寒  
の中で働かされた愛国人大勢が飢え  
凍えて果てた」

「癪病棟にブチ込まれ孤島に呪い狂つた  
我々の生きザマを」

「ガン病棟を忘れたか結核病棟はどうな  
んだキチガイ病院に入れられた反大  
勢派はどうなんだ注射一本で廢人に  
された者達は」

「一体国家は我々に何をしてくれた国家  
は我々にとつて何んなのだどこに愛  
國心が民族の誇りがもてるのだ老  
人小供をひきづって異国を歩く我ら  
りブチ」

# ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO

「バカヤロー 僕達だって原爆実験のすぐそばで 軍事教練の名目で実験用人間にされたんだ 多くがガンや喘息 骨イタに苦しんだのだ 人明の利器も知らぬ南太平洋の原地人はこうした声さえ残せず果てたのだ」

「俺達黒人四百名を政府機関が梅毒の症状進行検査のために治療しなかったのだ ミドリ猿からエイズを作り 刑務所囚人に移して放出させて 世界に広めた国だ」

「我々独立叫ぶ人々を十万人も殺し 朝鮮皇室の閑妃を寝室に殺害した上に 死体まで凌辱したのは日本憲兵ではないか わしらは食料事業悪化で 食料盜んだ者やら 農作物計画の失敗だと 官民何十人が公開の場で火炙りにされたのだ 市民が飢え小供が栄養失調なのに ミサイルと原爆作りをしている國なのだ」

「我々貧困にあえぐ不可触賤民は 赤ん坊の時に売られて乞食にされたり チンポを落とされ穴を剔られ男女のパン助にされたのだ 人体標本売りに死体の肉を削ったのも我々だ」

「ダメー 手前らのゴチャゴチャ言うのを止めないか 要はこんな船で死ぬよりも 今を暴れて戦つて 血を流して死んだ方が男らしい 人間らしいといふことだ 命賭けの戦いこそが 我々アクマの子に残された真に生きる道なんだ」

「ワーッ クソボーズの破戒坊主の三十ば

うず 大僧正の徳を慕つて入門する者を憎悪と略奪お布施で大僧上の徳を凶化する きょうは中華料理が食いたい きようは肉だ あしたは魚だハムだ ジュースを買ってこい マッサージしろ掃除しろバカヤロー 一オレは十二年目の御出家だ 二い オレは十二年目の御出家だ 言うことをきかんとこの野郎追い出すぞ 教団の本部支部に汚名の手紙を書くぞ 手下もいれば下賤上がりのこの俺の醜い力 汚ない寺院社会に死ぬほど苦労した渡世坊主の術を見せてくれようぞ 宗教家など寺に居座り 神仏の名をカタリ 身すぎ世すぎ 口尻すぎのホモ坊主」

「真善美的オレ達は ワル者目ザトク見つけ かみつきかぶりつく食人族の雑誌 テレビのリボーカー」

悪いことして掴つたやつらなど 何も言えないと復讐できぬ そこにつけ込んで 大衆の前で大恥かかす 大笑いしてやつてやつらの人生将来まで潰し叩く 世の悪人共を善の汚染で恐怖せしめて金儲けする我ら善のハイエナ軍団」

「誰だって金は儲けたい 訳の分からん金ももらいたい 下々の人の前でエバリ たい 朝から晩まで手前の自動車みがいてその上に もっとよこせとデモれば給料上がる」

「誰がキヨーイク改革やれるのだ 誰が行政力イカクできるのだ 十人でやる仕事を今さらふたりにへらせつか 国を

ダメにし小供を狂わせ 世をダマシ通す我らが無頼憎狂組 右翼とは犬猿の仲」 「遊んでいるやつは後退する 人は一所懸命働くことが大切だ

もう止めてくれ 膨らみボーチョーしたパ力話 ついこの間まで水金玉食らつて狂い回つてたバカ者が 人の憎しみ復讐心は他の者にも伝染する法定伝染病 バカ声でオホホホーオホホー エブリバリーガンフー ファイティングのブルースリーのバカ早い歌のように 小供から中年男口一妻に至るまでわる口悲鳴 口あわ吹いてひつかき合いから殴り合い イビリイビラレ ケリケラレ 年がら年中腹を立ててる人 年がら年中マラばかりおつたててる人が船に乗る前はどこでどんな人生生活してたか知らないが 知らざるを知るとなし 知るを知らざるとなして生きてきた者共がフミ合いケリ合いイビリ合つて この空しい世の中を 自分のためでも人のためでもなくあつちへ向いたりこつちを向いたりする頭を当りもしないパンチを思つきのままに飛ばして

ヤレ空気感染だ 水質汚染 拝金主義 リンカイ核実験 野辺山電波望遠鏡 地球の温暖化 人口増加 大学入試だ 食料

ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO ASATARO

不足だと憂いでころげてみたり  
そんな果てるともない争い 不平不満 人が  
権蹊蹠の対象に 少しづつ少しづつ何か  
が見えてきた 方向性が見えてきた

どうやらかつての支配層 金持ち 先公  
医者 役人 社長 強い者に味方する宗  
教家やブン屋 人々を虐げ裁判しケーム  
所へ送った官権達—上部の者へと痴狂人  
の攻撃目標がしばられる

しかもその中で 直接彼らを捕えた ジン  
モンし 暴力振った 苦しめ悲しませた下  
級ケイサツカンに力は向いてゆく  
船には④部落にあつて ⑤発電所や病院そ  
の他の施設には性質上 この者達をカン  
視カントクした警察官やら自衛隊上りがり  
のケービ員 医者やらが多かった  
ケイサツがみな悪くて犯罪者がみな良いの  
だけは限らぬのに 国家に忠実 良心に  
正直なオマワリさんはワリをくう  
しかも下つ端で 安月給で激務でヒロウ度  
の高いニクマレ役 制服とピストル姿で  
國家の威光を笠に着た その態度と口の  
キキカタが憎まれた

ノラクラ遊んで給料もらう会社員 デモ騒  
ぎを利用してワイルことする組合員 一  
日中ノロノロ歩いているルンペンや 仮  
病や福祉で入院したり金をもらツテル者  
も多いのに 善悪市民のためセツセと働いたもじめなボ  
リースマンはバカを見る ではケイサツ  
憎しの理由をインタビューしてみよう  
世界のうちで警察官ほどニクイものはない

どうしてそんなにニクイのか 理由をど  
うぞ

「右翼—死ぬほど拷問されてオドされ  
血の海になるまで殴られケトバサレた

「左翼代表—逃げて追いつめられて畜生の  
右翼活動したために」

「組合代表—我々会社の不正と戦っていた  
時に会社側に味方した 委員長が右翼  
に殺された時も捜査をしなかつた  
組合員をドツキ回したあげく 会社側が  
負けたら知らん顔」

「全共闘—ヤツラに蹴られインボになつた  
家も育ちも悪い学歴も知識もない犬共  
に どんなに責められたと思うのか」

「政治犯—なんて罪はないのだが—ヤツラ  
上にはヒクツ下には横柄 政治犯だと  
かアカだとかの疑いで拘え 勧め先に  
タレ込みクビにさせ 郷里や親類にま  
で噂を広め この世から切り離し孤立  
させた」

「前科者—ありもしない罪をおつ被せて罪  
におとし その後も何かあれば疑い  
必ずお呼び出し調べられた」

「狂人は悲しからずや 家族に捨てられ巷  
にうろつく我を掴え怒鳴り殴り 寒空  
につき放つ 何ひとつしてはくれなか  
つた」

「フロウ者—犯罪予備軍という理由で捕  
て 弁護・裁判料も保釈金も身元引受け

人もない我々を 何ヶ月もブチ込みや  
がつた お祭りに邪魔だということで  
水部屋に押し込めて旋風機で凍えさせ  
柔道の稽古台にし投げ飛ばしやがつた

「芸術家—無教養の脳ナシ官が 世に先ん  
じ優れた我々を氣違扱いしやがつて  
ブジョクしコケにしワイセツ罪でブチ  
込んだ 精神病室に押し込んで新薬の  
実験台」

「パン助—やつら弱い者いじめの極悪人

体を売つてしま食えない我々を追い回  
し ブチ込み罰金取つた 金払えぬ者  
は強制労働 安く安くコキ使いやがつた

「ノミ屋—博打は古代からの人間の歴史  
善も悪もない本能的行為 国家はオッ  
ピラにやつて儲けてるくせ 我々には  
権力と暴力で頭を叩き割る」

「デモ代表—砂川闘争 安保 成田闘争  
戦争反対 世界平和のため戦つている  
我々を ナグリケリ イビリオドカリ  
狂わせるヤクザ者」

「ケイサツ官—ああ！ 我々の誇りは地に  
墮ちた 正しいことも言えない悪いこ  
とすら取締れない 法廷が殺人鬼を無  
罪にするようになつて 悪は罰せず正  
しき者を罰する世の中になつた」

中学生も暴れ狂つて走つて 大人が悪  
い先生が親が悪いとわめきつつ無茶なデ  
モそして国鉄潰した大ワル者の汽車ゴツコ  
野郎も追い回されている 校長も市長も  
白髪頭を振りつつ逃げ回る

米国の養豚飼料で大きくなつた者やら 勝ててもしない戦争を始めた老体トロの巻たよりに民主主義を教えた先公も 食便ガキに追いつめられている  
 だが語り部はこう思う 何も下つ端のケイサツ官が悪いんではない 悪いのは上層部 イヂメラレルのは社会的に恵まれぬ貧しく教育もない者達ばかり いつの時代にも底辺にあえいでいる氣の毒な人々それだけに横柄で暴力的力行使される者達は 直接苦しめられる者に怒は向う國家大勢派・為政者 法律 憲法がなくなり 世がひっくり返つた過渡期の混乱にこのまま引つこめるかと  
 それも分かる ところが本質に狂つた者の支配階層 統制秩序に 常識通念に縛られ圧え込められていた者には 何もかも總てがニクク不満なのだ 暴れたい自己解放は下品で下等な行為によつてしか得られないと考案実行をする  
 今までの憎しみと怒りを晴らし 腹の底から勝つてみたい得てみたい気持が大嵐の不快のために核爆発をひき起したのだ アインシュタインの 四一二〇理論が見事に開花し 瘋狂人のピックパン 痴人による狂人の核爆発が始まつた エネルギーは m 腕の太さ × C パンチの速度 そんな騒ぎの中に 神が力りか狐ツキか悪媒上がりの宗教婆 狂つた群集に悪い予言 不安の種植えて 大きな力になろうと企んだ 人心は更にかき回される

「この船には悪靈が彷徨い 満ち満ちて不幸に死んだ多くの者の呪いが 夜な夜な人の首をシメ 船底歩いて人を戦わせる  
 洪水で死んだ多くの人の恨み ねたみが船を沈めてやろう 船を沈めろと 力み呪縛し 生者にのり移つて破滅さす船の外を見よ音を聞け 夜となく昼となくゾンビ面がビブヒュート叫びつく無教の人魂怨靈がへばりついて追つてくる」

宇宙は縮まつているのか広がつているのか朝夕口さんの船は進んでいるのか止まつてゐるのか 人々は生きているのか死んでいるのか 宇宙に散らばつているグラックホールのように巨大化し統合しがて収縮に変じて行くのか 海の水は減鮮仁なのか  
 ないものがあると思つてもそれはない あるものをないと思つてもそれはあるのばそうと思うならまず縮めてみよと首を縮める  
 朝夕口さんが過労のためにノビてゐるのをいいことに 夕太郎 下らぬ演説始め出す  
 「始めにことばもなく名もなく 秩序も明

中で二千五百 この命を大切に不平を言わず争わず 衣食に満足すべし (注) 尽きることのない人々の憎しみ 底知れぬ不安の向うに 大きな夢と愛がある  
 命ミジカシ恋せよ乙女 小供に食わせたいと思う氣持が愛ならば 親や友に食わせたいと思うのも愛みなはひとりだけじゃない 互に助け合うものだ 汝殺すなケンカするな イビリ蹴りケルな 人は人を愛し 人のために働いてこそ幸なのだ  
 四十日も降りつづく雨と嵐の中を 人を慈しみ自らを戒めて忍びて耐えよ 家畜もドンドン死んでます 光もさないために野菜も育たぬこのごろだ 朝太郎やアクマさまに選ばれてこの船に乗つたる希有な人々が 互に争つてどうなるものか 狂人船は愛によつて守らねばならん  
 朝太郎兄弟達が 朝から夜迄働いて 食事作りやフロタキ病院勤め 君達の子ビッタパンツ洗いに 吐き上げ掃除船は波の間に間に漂つて流れてきたんじやない 嵐の中を眼らずに大波小浪の山谷乗り越えて どこまで続く荒波ぞと戦つた (キ)人の尊き優しき愛のココロを忘れるな」

(注)は、引用、書き替えたもので、必要があれば(著作権などの問題)、これを正式に届ける用意があります。

·024.7

### 鏡の中に自分がいる

山谷の住民である、現在毎日クバコくれ、ショチュウ呑ませる、日常生活をホームレス生活、文化人の常識では、また想像力によっても感じ取れない

たがいに傷つけ、バカにしあはながらも仲間である、自分に気付いて、どうするともできなまま落ちていく世界 (昇つてもいく…)

### 鏡の中の俺

どういふ格好で、どういふ気持でいようが、俺の鏡がみている

俺の未来を映したくても、

過去の俺しか、映ってしない。

樂せないのか  
樂しみや苦しみを越えていかなければ俺の人生は、ただの幻想で終わってしまう

若い情熱をもって生きていくとも

·024.7

風が冷たく、暗い夜に、何を考えて歩いていたのだろう、山谷で一人だった時に食べることか寝る、場所が楽しかった若い日のことを考えると生きていけそうもない現在

山谷でホームレスをしながら過去を忘れて食べることだけを考えているのか

·025.5

### 赤い翼

人は誰でも、文明的自由に夢を産み出していくだろう

実現できるか、できないか、問題ではなくしかし俺の夢は、ほかの人とは違う  
赤い仲間とともに沖縄独立である

### 幻覚の世界

山谷に気づくまで7年間 現在はホームレス生活しながら毎日のように醉ぱらい弱い者いじめのケンカで強くなつたような気分で空想をふけり、図書館にいって好きな本を読んで、りこになつたように自惚れ、バカな自分に気付いているのだけど 他人にりこぶるどうすることもできないまま、幻想世界に生きていたら今の山谷でぬことになるであろう

·024.28

自分のことだけしが愛せないのか歌よ  
社会や他人を愛せなくなったかわいそうな、お前よ、子供の時は誰からも愛された、

だろうに。

### 幻想の山谷を歩く

冷たい風が吹く夜に

ただぶらぶら一人

何を考えて意味もなく

歌として、今から生きていくのか

·026.1

過去的な悪い魂をもつ者は  
未来においてなに事も実現不可能な夢だと聞いた。

ほんとうにそあだとしたら俺の将来も失望的だろう。何もやりたくないなって来た。  
ただ山谷寄せ場で毎日酒を呑み酔ぱらいたくなつて来た。

俺はどうして悪い星の下で生まれて來たのだろう、そして山谷の寄せ場で生きて山谷は汚たない所でホームレスをしながら毎日ゴミ箱から何かをあさりながら、世間の人からくさい、汚い、むこうの方へ行けとかいわれながら、小中学生からも

## 結元節（建国記念日）に関する個人的・見解（その二）



（天長節（天王・誕生日）の歌）『零に聳える一千穂の、高嶺一風に、草の木も一靡き、伏しけむ一天王（皇は道教専用語ですので同教信者以外一使用不可!!）の、今日は、目出度い誕生日!!』

戦前・小学一年（一年頃の天長節の記憶が、満64才になつた老残（惨）!!（笑））一の身に蘇る一とは、國家権力の赤児（死亡寸前の）老人に至るまでの、完全洗脳教育の、恐しさに唯然とします。

赤児の時から『神國少年』!!として学校は勿論、家庭でも一般社会でも完全・飼育されて一神國少年・人柱一と成る一直前、敗戦!!

日蓮・狂信者の田中智学、石原莞爾、等々超・大先生の方々の『神國・日本に神風が吹き、鬼畜・米英は完敗し、世界に冠たる帝国・日本は大勝利の栄光を得る!!』との巨大・御託宣は、大穴・処か、極微小の穴さえも当らぬ帝国・日本は無念にも完敗したので御座居ます。

神風!!カミカゼの意味を、拡大解釈して、S・F的に地軸の、大変動、（神風波動・超巨大エネルギーとする）どうでしよう? 南極（S）と北極（N）が、日米開戦と同時に大逆転と云う超大・天変地異が惹起して、帝國日本以外の鬼畜・米英その他すべての異国人は、海中に大陸一諸島一瞬間に大沈没と、海底の藻屑と消え去つた!!

超眞正の一『神風!!』が吹くと一こう結果に一なるので御座居ます。日蓮（氏）の神風は、殘念ながら、単なる自然現象の一空風であつて、神風と云う名称は使用する事は不可能一なので御座居ます。まあ「かみかぜ→紙風」? が一適當なかも知れません一。そう一発言すると、激怒!!する軍団の方々が、居られるようでしようが、そう云う大先生方々には冥界に強制・旅行? なされば:冥界の秘の、超々『テレビ』や『ビデオ』『大型コンピューター』『各種・パソコン』等で、御聴取下さればべて・氷解しますと御託宣ならぬ一大断言せざるを得ません!!

### 閑暇休題

紀元節（建国記念日）と、神風や日蓮が一何で関係あるのだ!!と云う一幻聴? （笑）が聞えて来ました。別に脱線や余談として、神風、日蓮等々の单語を湧出したのでは、御座居ません!!

当然一理由一があるので、御座居ます。

紀元節（建国記念日）をテツチ上げたのは、戦前の帝國日本・各軍団・専属の、大学者先生方（当時の東京帝國大学・教授・博士等々）であるとの定説が一戦後一流布されて来て居ります。

成る程、表面的にはその通りでしようが、彼等を操作した背後の靈団!!

冥界の大黒幕軍団一の正体は? 次の通りです。  
（昭和・戦前）の日蓮狂信者達→法華経→聖徳太子→開明・大王→

百濟王国仏教軍団（主に法華經・狂信軍団!!）

仏教徒も、キリスト教と同様一宣教師と僧兵・軍団が一協力して仏教化・植民地・政策を西域（シルク・ロード）中國大陸・東南アジア、朝鮮、満蒙一日本へと進めて、進出と云うより、侵略して来た過去の事実は祕にしようと企むでも、眞眼の士により見破られて居ります。

仏教徒は戦闘一等一絶対にせぬ一等と暴言を吐く仏教学者も居りますが、その暴言自体一自己の無智を説明する以外一何物でも御座居ません。紀元一六〇〇年は一九四〇年が定説で今年A・D一〇〇一年は紀元二六六二年に当ります。何故にA・D一九四〇年が紀元一六〇〇年なのでしょうか?

キリスト教や仏教よりも、古くから大日本帝國? は存在したのだ!!と云う事を強調する為に、政治的・意図（一為にスルー?）により、策定一データ上げたのです。（データ上げた狂信者の背後靈軍団と判明!!）

〔一六〇〇一九四〇一六六〇〕

A・D六六〇年は、『古代朝鮮・百濟・王国・完全滅亡』の年なのです。唐と統一・新羅王国・連合軍により（百濟王国）はお陀仏チャンになつた訳です。古代・朝鮮・高句麗も同様にA・D六六八年滅亡!!百濟・怨靈軍団は、何と一八〇年後の一九四〇年日本の紀元として大復活!!なお百濟の女性・特攻隊は、百濟王室の一部の女官達を女性騎士軍団と言われます。彼女等、女性軍団は唐・新羅・特定軍団により強姦される事を恐れて、断崖絶壁から集団・投身・自決を一したと朝鮮の古文書に記されて居りますが、現代の日本の若い男女一とは異質で勇敢です一ネ!!（現代の日本の若い男女なら、どうぞ一犯して一くだしゃんセエ!!かも一ネ。女姦一男姦一何でもござれ一でようネエ!!）そう云われ、書かれて、激怒する一青年・男女が多数存在するなら、未来一に於いて日本は大沈没せずにはならない。しかし、敢えて差別用語を使用させて貰えば六〇代以上の方々は、三国人とか、支那（chinaチナ→シナ→支那 別に差別音ではないでしよう!!）中国と中国音でチヨンクオウと発音しますが転訛してチヤンコロと発音しても差別音ではありません!!）一チヤンコロとか平気で使用して来た説で、昔は敵国なのだから一当然一差別用語でも當時は常用語ですか!!日本は敗けたから、そう云う单語は禁ですが一勝つて一居た一なら一どうですか?

（笑）一まあ一中止しましょ!!  
襲撃? 暗殺? 一されるのは、イヤーですから一ネ（笑）。（黒人達は日本人を黄色い（サクランボ一色）白人と呼ぶんだから黒ん坊は差別音ではな

いでしょう。赤ん坊は差別音ですか? 現代の日本は、ピックリする程、白人、黒人、中国人、フィリピン人ーその他東南アジア人からー白系日本人、コロンビア人、イラン人ーインド人ーまで、人種の垣根ですネ!! あー南北の朝鮮人も実に多いですね。キムチやダッカルビ、チゲ、ユッケ、チヂミ、クリーパー等、焼肉と共に大流行!! 南ー北ー朝鮮人は、日本人との混血も含めると、約一三〇〇万人ー程になりますーと云う説がありますが、定説?ー常識ーとして認めて可と思います。

事程ー左様に、第三国人!! (オツと失礼!!) ー朝鮮人が多い、次に中国人、東南アジア人等々、と云う理由は? 過去を遡ると、滅亡したー古代・百濟や古代・高句麗の人々やー戰勝国の、唐や統一・新羅の軍団が、古代・倭国に亡命、進出は勿論、それと同時に、侵略ー植民地化ーしたーと云う事にもなります。

日(本国)王・家が古代ー現代までー超ー秘密ーにして『民をして、知らしむ不可!! 依らしむ可』と云う伝統を死守ーして居る理由、原因ーはーーー?

古代ー日本は、古代・中国帝国や、古代・朝鮮王国(高句麗・百濟・新羅等々)ーのーまあ不完全にしろ事實上ー植民地ーでありー古代・中国、古代・朝鮮の『奴隸・國家』ーだつたーと云う事です。

なお、古代・中国が古代・朝鮮を植民地化したと同様に、古代・日本もまず最初に侵略、植民地化された事は云うまでもありません。古代・中国も、政権が猫の目の如く変化し、統一されたと思うと諸國に分裂し、大争乱ーそう云う、統合と分裂の繰り返しで現代に至る訳です。勿論、政権を握る者は必ずしも中国人とは限らず、弱肉強食、どんな人種でも最終的に勝利の栄冠を手にすれば良いので、終り良ければすべて良しの一格諺の通りです。古代・日本も最初は、古代・中国王国の奴隸国家となり、魏王國と類似した倭国等と仇名(特定)され、それが東南アジアの認定・多様・国となつてゐる訳です。委の字だけが共通で、それ以外は鬼と人。倭人が人なら、さしづめ古代・特定中国人は鬼となりますし、魏國も自認ー名称国です。日本の『オニ』の原型は魏人である事実は言を待たぬ事。鬼人とは鬼の目玉の如く目付きが異質な人です。元外相のM女史の目付きやー鼻、頬等、現首相の細い眼、鼻口、アゴー等は、古代・朝鮮族の人相、顔相とソックリですし、現国王の長子のお嫁さんのーM女史も、横顔は驚く程、元外相のM女史と一類似してます。現代の有名、無名の朝鮮人と前記の超有名人達の人相、骨相等を比較して見て下さい。ピックリする程ーソックリですから。彼等の御先祖は、倭国原住民との混血であるにしろ主流の血脉は、古代・朝鮮族の血統ですよ!! 補則すれば、古代・朝鮮人にしろ、古代・中国人の分家混血ですからー御先祖の原点は、中国人ーかも

ー(特定民族の)!! 実例を挙げれば『越の国』の原点ー原語は、高支でもあり、古代・高句麗の支店国一分家、否植民地の意味ですが、高支を越にー修正ーして現在に至る!! と云うのも『民をして知らしむ不可!! 依らしむ可!!』の国訓が生きて居る証明になります。

余談ですが、越中『ふんどし(→クラシック男子用パンツ)』越前『腰巻(→クラシック女子用パンツ)』が越後『ノーパン』これは、私が創作(ふんどし以外は)ーデツチ上げたモノ(造語)です。越国の国人達は、激怒するかも知れませんが、その他の地方の生きの人達には面白い単語ですから、ドンドンジャンジャン御公開下さりませよ!!

一度聞いた、読んだだけで覚えられますので、御記憶下さい!! (阿々大笑)

『お客様は神様です』の名言で有名な国民歌手が『:はノーパン』ですと云うのは、お客様は、『お陀仏チャーン』になると焼却され火葬場でノーパンになるのですよ!! の換言!! 軽言ですし、田中角栄元首相の『日本列島改造論』も、『日本列島ノーパン・改造論』と解釈すると、誰れでも分かりますよネ。その娘さんの元外相が、外務省は『ノーパン省だ』と云えれば『ヨコハマ・たそがれ』をフンドシでなくして腰巻きを締めて歌うと、あのお身を一よじれる様な、お膚でコヒヒーがー暖つためられる位ーへソーーまさにさしくードンピシャりだつたんですがネエ。ーと云う男性有名歌手が『ヨコハマ・たそがれ』をフンドシでなくして腰巻きを締めて歌うと、あのお身を一よじれる様な、お膚でコヒヒーがー暖つためられる位ーへソーーおかしい声々、おかしい顔ーへソーーおかしい表現ー表情になります。宮沢リエ!! ちゃんの『ふんどし』も、何となくー尻ーおかしくてムズヅするーようなセクシヤル・肉体表現(表情)になつてーますーねー。

まあ、『越の国』は、古代・高句麗の日本海側の完全ー植民地ですが、奈良県の『明日香』飛鳥は、御存知、高松、塚で超有名になつた如く、古代・高句麗の部落・國家(分国)。その他、日本全国に、高麗群、高麗川ー高麗山等々の地名は、まず古代・高句麗の支配地が、古代高句麗・民族達の居住地であり現在も、先祖一代々ー(混血、日本化されても)古代・高句麗のほのかな香りを伝えて居ります。

歌舞伎の成・高麗屋ー等々も『おーキツネー顔』のお役者の典型です。芸国百濟は『百濟が消失した』故に(旧)百濟人達が『つまらない』を『くだら(=百濟)ない』と軽言して今日があるのです。百濟ー平家の祖先は定説ですし、新羅ー源氏の祖先も同様です。

百濟人達は『くだらない』と云い、新羅人達はやはり『つまらない』どうでも良い事等々を『知らない』(ねエー)と新羅ない(祖国消失)、消極的に云い、それらの単語が現在もハハを利かせて居ります。高句麗の方は、コラー(高麗ー)とか、コレー(高麗ー)コマぎれ(高麗切れ)等々があり、神樂(→高句麗)が代表格です。

(続く)

# 女性棋士には

けど

「いや。駄目なんだ。26日はミーティング休みなんだ」

「そうですか。では。……。新秋津へ行きましょう。Pさんに

露宿をお渡ししたいし、○△さんにもまだ渡してないし、これつ

て、一挙両得ネ」

「ハハハハ……。そうか、オレも新秋津へ行くよ。たしか、秋

津公民館だつたよなあ」

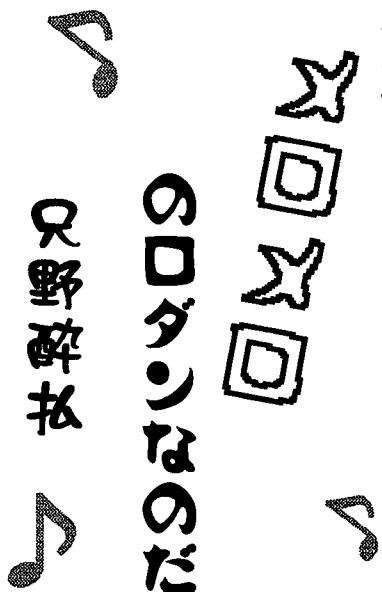
「そうです。これで決りました。ロダンは約束が固いから、必ず行きます。仕事も休みだし、昼のプログラムは自省館のメツセ

ージだから」

「では、そういうことにして。そのうち、カラオケもやろうよ

「ハイ。今日はわざわざお電話をいただきましてありがとうございました」

「では」「ではまた」



## 6ロダンなのだ

### 只野醉払



5月19日、22時6分、東村山グループの仲間から電話があった。

「もしもし、ロダンです」

「ああ、ロダンかい。オレだよ。○△だよ」

「あ、どうも、ごぶさたしています。お変わりありませんか」

「うん。昨日、Kさんがミーティングに出てきたよ」

「そうですか。よかったです。5月6日のOB会の日、Tさ

んと、Rさんと三人で、Kさんのお宅へ遊びに行つたんですよ」

「そうだつてなあ」

「ボクはTさんと碁を打つて、夜のミーティングに行くため帰

つたんですけど、おいしいお寿司をごちそうになつてしまつて。TさんとKさんが碁を打つといつてましたから」

「オレからも礼をいふよ。ロダンが来てくれたと喜こんでいたよ」

「ボクも行くことが出来て良かつたと思つてます」

「うん。うん。ところで、近々ミーティング場で逢えないかな

あ」「そうですね。26日の土曜日は東村山へ行こうと思つています

5月26日、18時55分、秋津公民館に着いた。○△さんは、一緒に歩いてくる仲間何人かと来ていて。いつものように献金を入れ、会場チケットアマンの印を押して頂いて、空いてる椅子に腰掛け、久しぶりに合わせる顔に、にこやかに挨拶を交していると、まもなくミーティングが始まつた。そして気が付いた。露宿を持つてくるのを忘れていた。部屋を出る時、机の上に二冊用意しておいたのに忘れてしまつた。すぐに気を取り直す。「来週、もう一度このグループに来なさいとハイヤーパワーが言つているのだ」と思う事にした。いつの間にか司会者が自分の話をしていた。右横にいた96歳まで生きるという新秋津の素敵なか仲間に、小さな声で、ささやくよう、「すいません。今日持つてくるつもりで来たのに忘れてしまつて」などとささやいていたら、司会者が、「では、仲間の分かち合いをお願いします。テーマは今日一日です。それでは、えーと、えーと、すぐに名前を忘れてしまうんだよなあ。えーと、そうそう、ロダンだ。ロダンお願いします」といわれた。久しぶりのロダンを決して忘れてはいけない。そしてトップバッタ

ーに指命してくれた仲間に、まず感謝。飲まないでいるから、こんな事にも素直に喜こべるのだ。

「ハイ。アルコール依存症のロダンです」

仲間が一斉に「ロダン!!」と言つてくれた。

「にしき町グループです」と言つたら、仲間がいつものように「にしき町」といってくれた。元気のいい仲間の唱和が気持を豊かにしてくれる。

—ありがとうございます。久しぶりに来ることができて、皆さんとお逢いすることができてうれしいです。これも19日に仲間から電話があつたことが起因しているのですが、いずれにしても、今日一日飲んでいいからなんですよネ……。

5月2日に、ステップの5をやらせて頂きました。この日、実は、就職の面接が決つていたのですが、5月1日に仲間の14年のメダルミーティングの日に、もう一人の人をお願いしていた仲間に『ロダン、明日9時からどうですか?会場を取れたから』と言われて、一瞬とまどつたのですが、AAプログラムと就職の選択ですが、ロダンはステップの5を取らせていただきました。もちろん本心は、ステップ5より、碁を打つ方が楽しいなあと思つたのは当然なんですけど……。

AAプログラムは生命線。就職は経済の支えだけど、何たって、生命あつての物種だから。ロダンはアルコール依存症者であることを認めているし、お酒を飲めば、すぐにはまた、どうにもならないくなることは、仲間を通して自覚している。アルコール依存症を認めてからは、まだ一度も、一滴もお酒を飲んではいないのだが、飲まないでいる一日は、何と調子のいい事か、こんな素晴らしい日々を送ることが出来るなんて思いもよらなかつたわけだし、もう死ぬまでお酒を飲まなくたって、37年間飲み続けたお酒の量を計算してみたら、平均的人間が、一生に飲むお酒の量の10倍位は飲んでしまつたのだから、もうすっかり自分自身を納得させていきます。そう、もうお酒はたくさんだと。ハイヤーパワーに言い続けることにしている。お酒を飲まないためにはどうすることが一

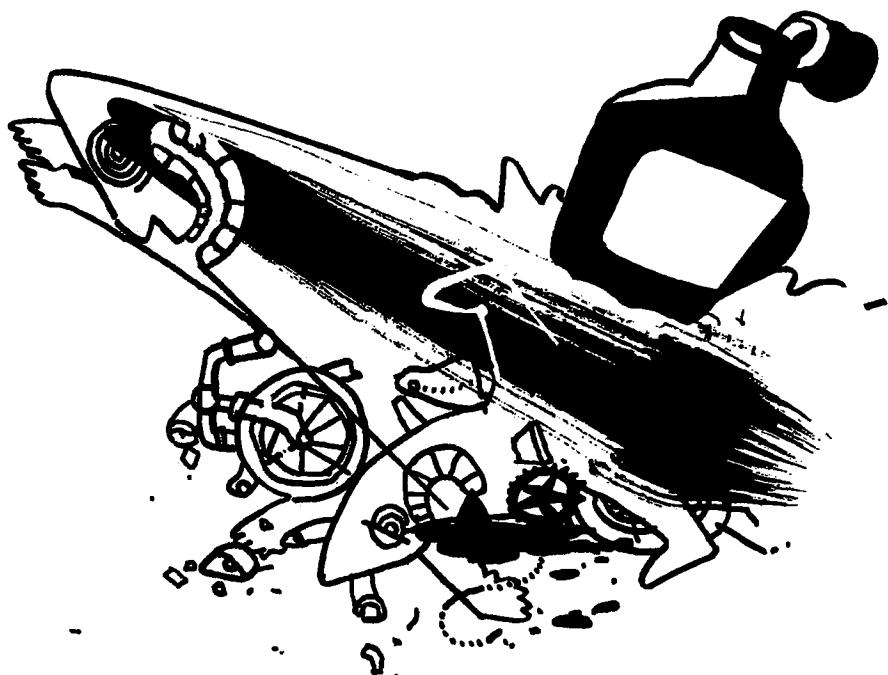


番いのだろうと考えることにして、最近は、自然体の中で飲まないでいられるんです。お酒の捕われなく、楽な気持で生きるんです。

ステップ5をやらせて頂く直前、朝9時に、ハローワークに電話をして、今日の面接なんですが、よんどころのない急用ができる、今日の面接に行くことが出来ません。どうすればよろしいでしょうか。と聞いたところ、直接会社に電話してみて下さい。といわれたので、すぐに電話を掛け直し、今日9時30分に面接を予定している者なんですが、急用ができるで行く事ができません。何とか日程を変更して頂けないでしょうか。とお願いしたところ、そうですか、ゴールデンウイーク中は会社が休みですので、5月7日ならよろしいですよ。と言わされたので、では、5月7日の同じ時間でよろしいですか。とお願いしたら、けつこうです。と言われたので、よろしくお願ひします。と言って、無事に面接の変更ができた。あれエー。何とスマーズに事が運ぶのだろうかと思つたが、選択の正しさが証明できだし、何と言つたってハイヤーパワーだなあと思つた。感謝。感謝なのです……。

会場に到着する時、中着田フェローシップでの、曲ったことの大嫌いな仲間に出逢つた。  
「Sさん、こんばんは」と挨拶したら、「オ、ロダン、こんばんは、どうも、どうも」と相変わらずのさわやかさが、久しぶりの会場訪問を楽にさせてくれた。

4月14日、朝日アマ十傑戦東京大会の東京都23区地区大会に参戦した。市ヶ谷にある日本棋院会館に行くのは久しぶりだ。横浜にいたころ、ジャンボ囲碁大会、支部対抗戦等、数多くの大会に参戦したし、特に、今は亡きマー君の少年少女囲碁大会の全国大会に応援に行つた時の事を思い出す。ロダンが手塩にかけたマー君の碁を見学したわけだが、この時ほどイライラした事はない。自分が打つのが一番楽だとつくづく思ったものだ。結果は一回戦で負けた。



## 路上文芸総合雑誌『露〈Rojuku〉宿』

たしか…。朝、市ヶ谷駅前でカツサンドを食べたけど、勝つがパンの間に入つていて勝つが見えなかつたのかも知れない。カツ丼にすれば良かったのか。お昼に好きな物を食べたらと言つたら「ラーメン」といつていたなあ…。

一回戦の終盤にかかつたころ、電話が鳴つた。

あわてて、「ちょっと失礼、時計は押していて下さい」と断つて、会場を出て、電話に出ると、いつも一緒に歩いている仲間からだつた。話し終つて席に戻ると相手はまだ打つていなかつた。この時点では盤面10目はいい。黒番だから4、5目の差だが、勝ち切る自信があつた。電話のタイミングも良かつた。もう一度冷静に判断することができた。

次の勝負も勝つ事ができ、4月21日の本戦出場を5番目に決めてしまつた。

4月21日、シード組、多摩地区代表組、そして、ロダンを含めての23区代表組の128名が集つた。トーナメント表が壁に貼られていて、名前を貼るだけになつていて。引いたカードは20番だつた。各棋戦で活躍している名前が多く、東京は強豪ぞろいだなあと思った。この強豪たちと碁を打てる喜びを感じた。

結果は、一回戦、黒番3目半勝ち、二回戦、黒番中押し負け、128名のなかで唯一の女性だつた。飲まないロダンは、女性には特にやさしくなつてゐるようだ。女性には闘争心が沸かなくなつてしまつたのだ。

第48回全日本アマ本因坊戦の東京23区予選が6月9日10時から、市ヶ谷、日本棋院である。もちろん参加することを決めた（この作品の出る時には結果が出ている）。

ロダンの思考能力は、お酒を飲み始めた18歳に戻つて、これから成長するのだ。

AAミーティングは考え方も多い。どんな主張でも、どんな考え方にも一利あると考えるべきだ。なぜ、どうして、そんな、と思わせられる話でも、一人の人間が今まで生きてきて、今は飲まないで生きようと、AAミーティングのなかで話されて

いるのだから、どんな考え方をしていたにしても、今まで生きてきて、これからは飲まないで生きようと思っているのだから。とにかく生きていることは素晴らしいのだから…。

ロダンのこの部屋には洗濯機がない。仕事が始まつてコインランドリーの使用回数が増えてしまつた。ケースワーカーから提案があつて、バケツに洗剤を入れて、少しつけとい、手で洗つたつて平氣よと言われた。すぐに実行してみたら、何の事はない。汚れはちゃんと落ちるし、朝には乾いている。一回の選択代が300円、乾燥代が200円、一週間に千円以上節約ができるとなつた。生れて始めて手で洗濯した。簡単なことだと思つた。何でもやつてみるものだ。自炊の時もそうだし、掃除にしても、掃除は掃除機がするものだと思つていた。何でも便利になつたことが、当たり前となつてゐる。

携帯電話が5月23日から使えなくなつた。思い切つて、不払いを使用停止にしてみた。5日間で手を上げた。5月28日から使用できるようになつた。もうすっかり携帯電話依存症者の重症患者になつてゐた。携帯電話使用料は高いので、できるだけカードを使用することにした。料金プラン、コミコミONEエコノミーというのが3回線まで半額になる事から、職場と、仲間二人を指定割にした。不思議なのは、使用可能になつて30分程したら、松沢病院に入院中同室だった仲間から電話があつた。聞くと、この5日間は電話をしていないという。「本が出来上がつたので6月5日のロダン一年のメダルの日に届けますから」との連絡だつた。そうか、そうか、自省館を出てもう一年になるのか。……。

\*ステップ4－探し求め、恐れることなく、生き方の棚卸表を作つた。  
\*ステップ5－神に対し、自分自身に対し、もう一人の人に対し、自分の誤りの正確な本質を認めた。（十二のステップと十二の伝統から）

水道町  
すいどうまち

新潟県新潟市、松林から血の匂いがするやうになつた。水田界隈で、いつ時計の音が止むる「二七〇番」と本局が入って来てひびき、やがてかく



「アーチー、おまえのアーティストとしての才能を認めたいんだからさ。」

ひ、かかる、なんども心地悪めしおどりで歸すである。

「人間交差点」の一帯面で老人が躍るセツフ。昔読んだハガタ、「人間交差点」の一帯面で老人が躍るセツフ。出でて、ハヤヘテモビニズル可もする事などすむ。ところ様に区別、四角の黒い物が女性に似て見えた。貴あれどもなんも飛んだハゲ。

一 そして何年もたつ

「ズルズル…」では済まされぬほど、迷走して、この辺りや、駅前通りで、引きずって、もがいた」というイメージが、現在シタバ喜らす程をかねて、ズルズルといふ言葉をかみしめる。

高橋 美香

# 路上 ふらり 東京 散歩

第19卷

「赤羽～川口」

写真・岡田知子  
文・笠井和明

JR赤羽駅を降りると雑居ビルのてっぺんに自由の女神が聳えていた。もちろんテロリストの標的になるまでもない一っちゃんレブリカである。

埼玉との県境に位置する北の外れにあるこの街は、穏やかな荒川や隅田川の水路に恵まれ、かつては魚河岸などが栄えたであろう事が魚屋や魚料理の店の多さで伺える。川で栄えた歴史を持つ古い街が、埼京線の開通、南北線の開通と、今度は都心へ向う鉄路の要所として栄える。そうなると労務者相手のいかがわしい雑居ビルの店々は、団地の住民相手のショッピングセンターの陰となる。

北へ、南へ、東へ、西へ、都心から放射状に伸びる交通網は、要所所に小都会を作り、もはやそれらが点在しすぎて何が何やら、何處にいるのかさえもが分からなくなってしまいそうな東京の街々。「健全な」開発は、生活臭や都会ならではの不幸や理不尽の匂いを無臭にして表面上の「安心」を演出する。

雑居ビルに聳える自由の女神が笑えるのは、それがあまりにも東



京らしくないからである。

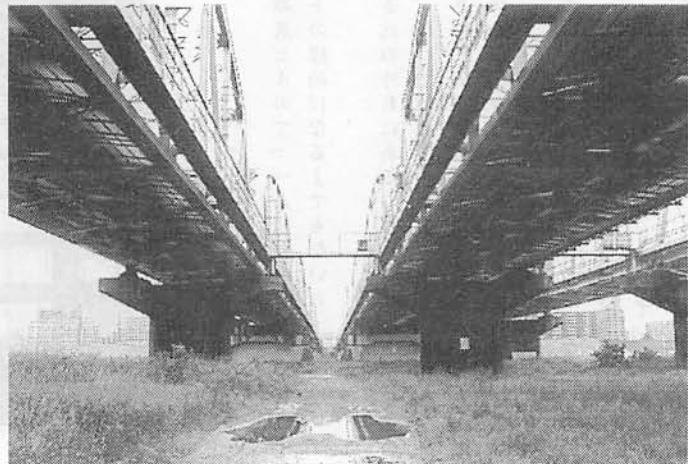
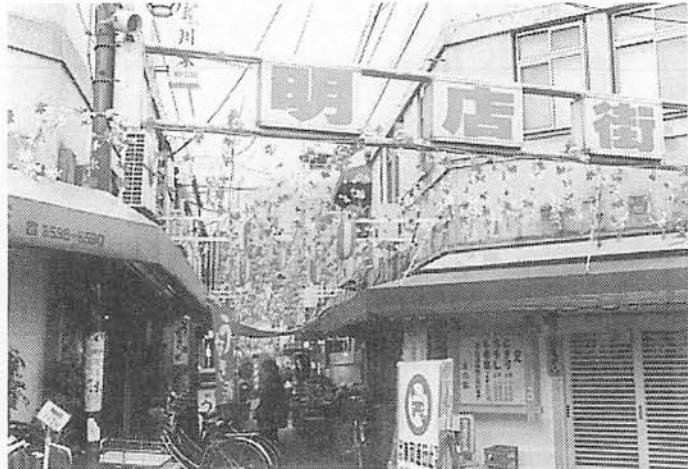
一番街を北へと歩む。駅前の開発地帯に比べ地味な商店街。そこにパラック小屋が建ち並んでいた頃が想像すればすぐにでも目に浮かんで来る商店街は、何故だか何處も流行っている。かつて闇市があつた場所は今や都会の一等地であるよう、闇市やパラックは街の活気の源流なのか。シヨウウインドウに入れられたものよりも、路上に並べられたものの方が購買意欲は沸くのが自然。

一番街を抜け環八通りまで抜けるとこちらには大型団地の姿はなく、ひっそりとした住宅地。新しい家々、小さなマンション、壊れかけた古い家々、階段に赤錆が浮かびあがっている木賃アパート、材料まるだしの工場、車一台しか通らないだろう狭い道路を挟んで、様々な階層の人々が生活を営む。

中の橋のふもとにはブルーシートで仮小屋を作つてくれますおっちゃんの姿。新河岸川、荒川の河原、橋や鉄橋の下にも住宅地の延長かのようおっちゃん達の小屋小屋。

きっとおっちゃん等、廃品回収かなにかで現金を握れば、一番街の店へ行つて石鹼やらタオルやら食料やらを買い込むのである。おっちゃん橋を渡り自転車に乗つて駅の方へと走つて行く。きっと自由の女神が微笑んでくれるに違いない。

河原のおっちゃんの小屋を訪ねてみたかったのだが、前日の雨で河原は水たまりの数々。足を沼地に取られて断念。頭上から京浜東北線の車両が轟音を響かせる。この世のものは思えない鉄の音の生々しさ。見上げれば架橋のすき間から五月のまばゆい光が降りそぐ。





川口まで行つてしまえと、新荒川大橋を渡る。

向こう岸にはでつかな高層ビルがいくつも。どちらが東京なのか方角を知らなければ判別できないだろう。埼玉も東京にいつしか乗つ取られたようである。「エルザタワー」と称しているようである。その「エルザ区」の回りには芝川が生い茂る雑草と廃棄物の間を小汚く流れ、柵で囲まれた区外には古びたしもた屋が秩序なく並ぶ。都内で云えば佃島に似てもいるが、そこよりももつと露骨。こんなマンションを見上げて暮らさざるを得ない下々の人々は何を思うのであろうか。

四十年後の「キュー・ボラのある町」は、あの頃の都内や近郊の工場街がほとんどすたれてしまつたよう、同じ定め。古き良き伝統を探せども、それは所詮斜陽となつた産業、どこを歩いても残滓程度しか残つてはいない。いくら市が伝統文化と宣つてみても、文化だけでは飯は食えぬ。灼熱の中で働き続けた労働者は無論エルザタワーに住める筈はなく、街の片隅でひつそりとした老後を送つてゐる事だらう。

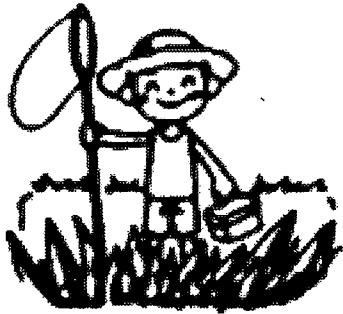
川口西公園の洒落たオブジェの小さなすき間に、夜おつちやん達が眠るためにダンボールや毛布が隠してある。わざわざ見つけずとも良いのに川口市の警告書がその上にペタリと貼つてある。

貧しさは今も路上や街の片隅に生きている。けれど、今の都会はそれを死んだかのように見せかけるのが得意である。

JR川口駅前のパチンコ屋だか何だかのビルの上にはライオンの象が建つていた。夕刻迫る繁華街のネオンに負けじとライトアップまでされている。鳴く訳でもなく、獲物を取りに走る訳でもなく、まるで意味などはない。しかし、それにしても笑える。苦笑が、呆れ笑いになり、そしてどうでも良くなる。所詮、都會などと云うものは、そんな馬鹿げたものであろう。

铸物の街を散策し、居酒屋で疲れを癒し、夜半、都心に戻った。

(了)



# おきなわ旅日記

いっしう  
～一休のおばちゃん～

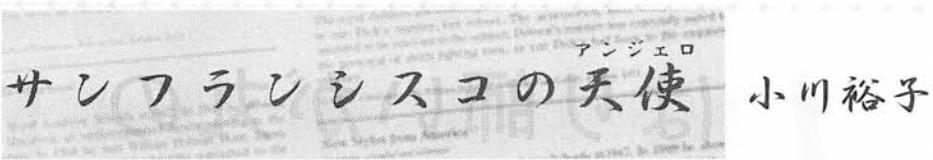
恩田美代子

旅をしている間、その土地の音楽を捜し求める。そして、それが見つかった時の喜びと言ったら。

「与那国島の音が聴きたい」と、食堂を営むユキさんに相談すると、一休に行ってみたらと言われる。普段飲み屋に一人で行かないのだが、勇気を出して一休ののれんをくぐる。と、主のおばちゃん、あっけなく「今日は駄目」と店に入ってくれないので、すごすご帰ろうとすると従姉と常連さんらしき人が、折角来たんだからとおばちゃんを説得し中へ呼んでくれる。今日は休みなんだけど、と言いながら冷蔵庫から食べ物を取り出し勧めるので、実はこの土地の音を聴きたくてここに来たと説明すると、「おばちゃん、喉つぶしちゃって、声が出ないから」と言いながらもちょっと嬉しそうな素振りを見せる。いつの間にか客が増え、沖縄民謡のレコードの合間におばちゃんの歌と三線（沖縄の三味線）が飛び出す。歌っている時の気持良さそうな顔といったら。しかし、声を張り上げるところでガラガラ声になってしまい辛そうに咳払いしている姿が切ない。20年振りに弾いたという言葉が信じられぬ程、三線の乗りも良く皆音楽に酔いしれ、踊る人も出てくる。北海道から来たという観光客は「これだよ、これ！」と感動している。音楽ってやっぱり良い。こんな誰もが楽しめるのだから。

途中からやって来た同宿の男子学生も、一緒に楽しんでいるが、おばちゃんの、私と男子学生に対する接し方が微妙に違うのに気付く。歌っている時や食べ物を勧める時、男子学生を笑はず見る。その姿に色気を感じる。うーむ。女って、いつまでも女なんだよなあ。帰り際、ここに来て良かったと感謝すると、毎日おいでと言いながら与那国特産のクバの葉で作ったひしゃくをくれる。しかも飲食は無料。「今日は定休日だから、お金はいらない」と。

帰り道、波の音だけ聞こえる。与那国は情（なさけ）の島だと、誰かが言っていたのを思い出す。



「ヘイ、アンジェロ！元氣にしてるか？ ちょっと火を貸してくれよ」。アンジェロは、私がアメリカ・サンフランシスコでインターンをしたホームレス支援団体・Coalition On Homelessnessの一員だ。スタッフの大半が野宿経験者というこの団体は、野宿者の立場から市や国のホームレス対策に提言する団体であり、現に野宿の状態にある人の“声”を聞くことを何より大事にしている。その中でも、“ストリート・アウトリーチ<sup>※</sup>の王者”と呼ばれていたのが、このアンジェロ。彼と街を歩いていると、冒頭のように本当にたくさん的人が声をかけてくる。

アメリカの大都市では、《風紀》や《美觀保護》といった理由で、歩道で横になったりお酒を手に持っているだけで裁判所の呼び出しが受けたり、毛布などの荷物を置いていると何の警告もなく撤去されたりするケースが増えている。ここサンフランシスコでも状況は同じで、警官や市職員は法律に則ってやっているというが、よくよく条文を読んでみると該当しないケースまで取締を受け、その末、罰金を命じられたり刑務所に送られることすら多い。

こうした条文の詳しい解説が書かれたビラの束を持って、ひとり颯爽と路上へと出かけるアンジェロ。彼を追っていくと、少しいきり立った若い人、疲れた様子の年老いた人、子どもを抱えた女人の人・・・路上で出会うどんな人にもビラを手渡しながら声をかけていく。「権力に負けないためには、まず自分たちの権利を知ることが大事なんだ」と熱心に伝える姿を見て、こうした彼のひと声が「どうせ（不満）言ってもしゃあない」という諦め気分をはね飛ばし、望みをもたらすこともあるのだ、ということを目の当たりにした気がした。

自分自身10年近く野宿生活を経験した彼は、今はS R O<sup>\*\*\*</sup>と呼ばれる単身者用のアパートで生活している。ところが最近、室内で家財道具が盗難に遭い、アパートのオーナーの責任を訴えたところ、まともに取り合わないばかりか、追い出されてしまい、いま裁判を闘っている。その法廷にも連れて行ってくれた彼は、「身の自由が保障される限りは、闘うことはずっと怖くない」と、鋭い目で前を見さえ、ひとり言い聞かせるように言っていた。

そんなややまっすぐ過ぎるところがある彼だが、本当に人には優しく、街なかでタバコの火を貸すことはもちろん、どんな人の相談にも耳を傾けることを厭わない。「何かを変えたいこうとするならば、街に出ること、そして人を知ることだ」。イタリア語で“天使”という意味の名を持つ彼の行動と言葉一つひとつが、その大切さを、何より私に教えてくれた。

<sup>\*</sup>ストリート・アウトリーチ：路上にいる人に何か問題がないかどうか尋ねる情報収集・提供活動。

<sup>\*\*</sup>S R O : Single Room Occupancyの略。ドヤの1室を広くしたアパートのようなもの。



THEY WHO HAVE LITTLE  
ARE THOUGHT TO HAVE NO  
RIGHT TO ANYTHING.

“They Who Have Little” original Woodcut block print by David Adams 1983

David Adams

# はり師いが丸の 肝心かなめ

はり師いが丸

キムと出逢ったのは、とある南の町の安宿だった。その町の小さな食堂で、行き会った旅の仲間たちと、それは心地のよい夜を共にしたことを覚えている。ろうそくの灯の元で旅の話を交換しながら、マッチやコインを使った他愛のないトリックに興じていた。

その私たちのテーブルにひとりの少年がやってきた。「金をくれ」土地の言葉で少年がそう言うと、キムが立ち上がって言った。「おまえはまだ若くて手も足もある。目も口もある。フルートでも覚えて稼いだらどうだ。働け」音楽があれば言葉はいらない。誰とでも仲良くなれる。フルートとジャグリングのお手玉を片手に、彼は長い旅を続けていた。

一年後、東京で再会し、短い春を共にした。上野公園に通った。警察による路上の取り締まりがまだ厳しくなかった頃の話である。週末の公園は大道芸をする人たちで活気づいていた。パフォーマンスをひとつ見終えると、それがどんなに下手なものでも、キムは必ず投げ銭を入れた。

彼自身はというと、ギターを弾く仲間を既に見つけていた。フルートにギターの弾き語り。それが彼らの出し物だった。なんとかという雨の歌を歌っていた。脇にいた私は「踊れ」と言わされたが、そんな根性はなかった。けれども持ち前の器量で、立っているだけでもバラの花をもらった。しかし投げ銭は少なかった。彼らの音楽はせつなすぎたと思う。

奇異なものと目を合わせてしまったことを戸惑うように、瞬時に目をそむける人たち。通りすぎる人たちの足音が鋭く耳に響いた。路上という場所に、通りすぎる以外の理由で身を置いたとき、街がどのように見えるのかということを、私が初めて知ったのは、このときだった。

今年、9年ぶりに横浜・野毛の大道芸を観に行った。規制がやかましくなったのだろう。細かく組まれたプログラムは路上の躍動を減退させたが、上質のパントマイムには首の筋肉がつるほど爆笑し、飛ばした笑いの分だけ、私は惜しげなく投げ銭を入れた。

「ただで楽しめていいよね」などという不届きな輩もいるが、ストリートパフォーマンスは私にとって、たいへんなお金のかかる娯楽である。路の上ならどこででも、その場の空気を巧みに操り、すべてを吹き飛ばすような笑いや驚きを身ひとつで提供してくれるパフォーマーには、心からの敬意を払っていることを、どうにか伝えたいと思うからだ。

今も東京の路上で見かけることができるは、フォルクローレの5人組と、上野公園のカラオケ同好会。そしてハーモニカのおじさんぐらいだろうか。

わずか10年のうちに奪われてしまった、そんな路上の息吹を再び取り戻すこと、私がひそかに夢見ていることのひとつである。

## 意見広告

### ホームレス（経験者）の中から国會議員を誕生させ、日本を破滅から救おう!!

ホームレス “ゼロ” の日本にするために  
失業者 “ゼロ”

ホームレスの経験を国政に反映させよう!!

賛同される方は下記へカンパして下さい。金額は自由です。

郵便振替口座 00160-6-190947 「ろじゅく編集室」

\*「五渕提案に賛同」と記載の事

国・都道府県、市区町村の首長の皆様、ホームレスに関する相談窓口、担当者には、ホームレス経験者を採用して下さい。

ホームレスの方々の気持を充分に理解することが大切です。

五渕四郎 2002.4.28

路上文芸総合雑誌「露宿(ROJUKU)」第19号2002年7月1日発行(隔月刊)

〒170-0014 東京都豊島区池袋1-14-5-13 ろじゅく編集室

次号20号は9月1日発行予定です。

露宿ペン俱楽部短信

原稿締めきりは8月4日必着にて

夏は己の限界と汗だくの葛藤の季

お願いします。

節。破滅的な思いも横切る季節でも

編集後記

あります。が、健康第一であり無

「まっすぐに 歩こうとして ふらふらと

理せずこれからの中暑を乗りきりま

道に迷いし あじさいの頃」

しょう。

青紫のあじさい咲く、路地裏。街を歩くとい  
つもせまい小路に足がそれてしまう。そこに  
は何かが待っていそうで胸がワクワクするので  
人生もかくありき—いいのか悪いのか?次  
回露宿の頃には、夏の夕暮れ、風に吹かれど  
を彷徨っているのやら。

露宿もおかげ様で4年目に突入で

時の経つ早く次号は第20号、どうぞまた  
露宿に迷い込みくださいませ!

す。長く投稿続けている仲間、不定

(お)

期な仲間、一回だけの仲間など、仲

間の投稿あっての雑誌です。作品に

しようが、路上もそうであるよう露

宿も様々な価値観がぶつかる混沌を

良しとしています。

ぶつかりあい、励ましあおう!

# Rojuku

定期購読大募集

購読費・スポンサー費  
送り先  
郵便振替口座  
00160-6-190947  
「ろじゅく編集室」

## 露宿バックナンバー 有ります。

露宿バックナンバーは創刊号から（2号、4号は売切です）在庫があります。お求めはろじゅく編集室まで、郵便振替用紙、FAX、TEL、メールなどご注文下さい。

「ろじゅく」

### 【露宿定期購読の御案内】

毎号確実に読者のお手元に届けるため当方では定期購読を承っております。

定期購読8回分 5000円（郵送費込み）

定期購読4回分 2500円（郵送費込み）

一回ごとの購入でも大歓迎。

一冊は送料込みで660円となります。

### 申し込み方法

郵便振替用紙（00160-6-190947ろじゅく編集室）に定期購読もしくは継続購読とお書きになり、住所、氏名を明記の上送金して下さい（発行ごとに郵送します）。尚、郵便振替の他、切手での受け付けもしております。FAX、メールにても注文承り中。

まとめ買いはお安くなります。

2冊以上は送料無料、5冊2000円、10冊3500円、50冊15000円（いずれも送料込み）となります。

露宿 ROJUKUはココで買えます。

◆模索舎 東京都新宿区2-4-9 TEL/FAX 03-3352-3557 ◆TACO ché 東京都中野区中野5-5-2-15中野ブロードウェイ3階 TEL 03-5343-3010 FAX 03-5343-4010 ◆スペースかぼす 東京都新宿区大京町3新大京マンション304号 TEL 03-5367-5666 ◆新宿中央公園ポケットパーク（毎日曜午後6時から8時まで）TEL090-3818-3450 ◆城西教会 東京都渋谷区西原1-19-3 TEL03-3466-0445 ◆石手寺 愛媛県松山市石手2-9-21 TEL 089-977-0870 ◆ぐりん・びいす 宮城県仙台市青葉区立町18-12-104 TEL/FAX 022-213-6739

路上文芸総合雑誌「露宿（ROJUKU）」第19号 2002年7月1日発行（隔月刊）

主宰・笠井和明 編集/発行・ろじゅく編集室 〒170-0014 東京都豊島区池袋1-14-5-13

TEL/FAX 03-3981-6746/090-3818-3450（笠井）

Eメール・rojuku@d9.dion.ne.jp URL・<http://www.d9.dion.ne.jp/~rojuku/>

郵便振替口座 00160-6-190947 加入者名「ろじゅく編集室」

販売協力・新宿連絡会、露宿ペン倶楽部

印刷・株式会社ラジオグラフィー